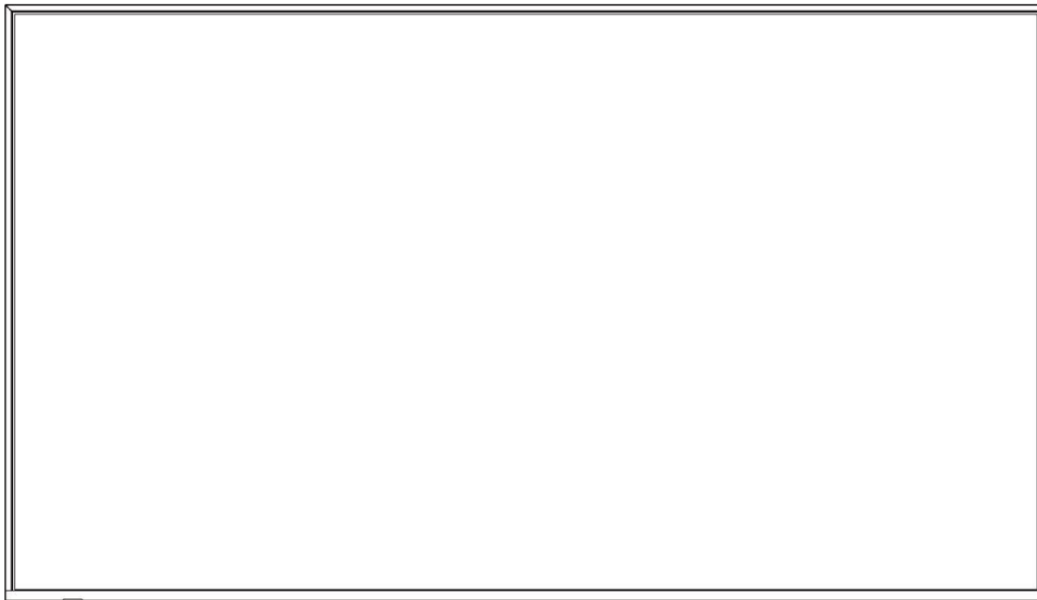


MAXHUB

(ND43CMA/ND55CMA/ND65CMA/ND75CMA/ND86CMA/ND98CMA)



デジタルサイネージ ユーザーマニュアル

最新版は[こちら](#)よりご確認ください



更新日：2024年2月20日

目次

安全上の警告・注意事項.....	3
本書について.....	6
保証について.....	6
同梱物一覧.....	6
壁掛けについて.....	7
壁掛け設置例.....	8
壁掛け設置例（図面）.....	9
各部の機能.....	13
インターフェース.....	14
本機電源操作.....	15
リモコン.....	16
ホーム画面.....	18
MediaPlayer.....	19
クイックアクセス.....	19
プレイリストの作成.....	21
MediaPlayer の設定.....	22
Finder.....	23
ワイヤレス画面共有.....	23
MAXHUB Share について.....	24
ワイヤレスドングルの使用方法（オプション）.....	30
ワイヤレスドングル（WT13M）の説明.....	36
設定画面.....	41
周辺機器接続方法.....	47
FAQ とトラブルシューティング.....	50
重量とサイズ.....	50

安全上の警告・注意事項

安全の為、本機をお使いになる前に次の事項を必ず遵守してください。火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故に繋がる恐れや、本機や周辺の物品に損害を与える恐れがあります。

設置・使用に関する警告・注意事項

- 本機を傾斜のある場所、不安定なスタンド、壁掛け金具等に設置しないでください。けが、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに設置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の上に重量物を載せないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 磁気を発生する機器の近くには設置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の近くや上に液体を置いたり、液体をこぼしたりしないでください。感電、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。強度が不足すると製品が落下する恐れがあります。
- ゴミや埃、粉塵が多くある場所に設置しないでください。火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機を設置しているスタンドや壁掛け金具などのネジに緩みがないか定期的に確認してください。緩んだままご使用になると落下によるケガや故障の原因になります。

電源に関する警告・注意事項

- 電源ケーブルは必ず付属のものを使用してください。感電、火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルは必ずアースに接続してください。感電、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。感電、火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張る等無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電等の原因となります。
- 本機に電源ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電等の原因となります。
- 落雷の可能性が有る場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。感電、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- マルチタップを使用しないでください。消費電力の大きな製品が同じタップに接続されている場合、火災等につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルを破損・加工しないでください。また、重量物を載せたり、引っ張ったりしないでください。

使用環境(温度・湿度)に関する警告・注意事項

- 本機を暖房器具の近くで使用しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機を高温になる場所に放置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 周囲温度が0℃～40℃の範囲内でご使用ください。
- 周囲湿度が10～90%RHの範囲内でご使用ください。湿度が範囲以上になると結露が発生する場合があります。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください）。
- 本機の熱を逃がしやすくするため、本機の背面・左右は10cm以上、上下は20cm以上の空間を空け、十分な換気のある場所に設置してください。

液晶パネルの使用とメンテナンスに関する警告・注意事項

- 液晶パネルの寿命とディスプレイの性能を向上させるため、高輝度の画像を長時間表示しないでください。また1日16時間以上の使用はしないでください。(ND98CMAのみ1日24時間の使用が可能です)。
- 静止画を長時間表示したままにしておくと、画面が焼き付き、残像が発生する場合があります。これは、液晶スクリーンの特性であり、焼き付きについては保証の対象外となります。焼き付きが起こらないよう、静止画を長時間表示させないでください。
- お手入れをする場合は、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、サポート窓口までお問い合わせください。
- 水やスプレー式の洗剤はご使用しないでください。

本機を移動する際の警告・注意事項

- 本機を移動する前に、電源がオフになっていること、電源ケーブルとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。けが、本機の故障に繋がる恐れがあります。
- 本機を移動する際は、筐体や液晶パネルに衝撃を与えないでください。本機の故障に繋がる恐れがあります。

イヤホンの使用に関する警告・注意事項

- イヤホンをご使用になる前に、あらかじめ本機の音量を下げてください。
- イヤホンで大きな音を長時間聞くと、聴力に影響を与える恐れがあります。

各インターフェース(端子)の取り扱いに関する注意

- ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。端子が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- サードパーティ製のケーブルをご利用の際は、ケーブルの重量などに考慮して選定してください。重量のあるケーブルを使用しますと、端子に負荷がかかり破損する恐れがあります。
- 本機にケーブルを接続した状態で、端子の接続部に無理な力を加えないでください。端子が破損する原因となります。
- 本機に長時間ケーブルを接続させる場合は、端子の接続部のみにケーブル重量の負荷がかからないようケーブルを本機に固定する等の対策を講じて使用してください。

ワイヤレスドングルの取り扱いに関する注意

- ワイヤレスドングル はリチウムイオン電池を搭載しています。下記の注意事項を必ずお読みください。
- ワイヤレスドングルをパソコンに接続して使用している最中は、パソコンを動かさないでください。接続部に負荷が加わり、変形・故障等につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを分解したり、改造したりしないでください。火災・けが等につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。火災・故障・けが等につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを規定の電圧・電流 (5V/0.5A) を超える電源に接続しないでください。火災・故障・けが等につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを抜き差しする場合は、プラグ付近を持ち、無理な力を加えずまっすぐ抜き差しをしてください。変形・破損につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを高所から落とさないでください。変形・破損につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルはマルチブート環境・シンクライアント環境では動作保証できかねます。予めご了承ください。
- ワイヤレスドングルのプラグが破損している場合は、本製品を使用せずに、サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口について

- 本機に関する質問やトラブル等のお問い合わせをする場合は、保証書に記載の電話番号にお問い合わせください。
- サポート窓口では製品番号や製品の状況等についての情報提供をしていただくことがございます。予めご了承ください。
- サードパーティ製品（弊社が販売・提供元でない周辺機器やアプリケーション）の操作・仕様の説明はできかねますので、販売・提供元へお問い合わせください。

本書について

- 本書に記載された会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。
個別の商標に関する注記については、下記 URL よりご参照ください。
<https://nicemobile.jp/news/trademark/>
- 本書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
最新版は下記 URL よりご確認いただけます。
https://nicemobile.jp/wp/wp-content/uploads/2023/07/DigitaSignage_m.pdf

保証について

本機には保証書が同梱されています。無料修理規定をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無償保証期間

お買い上げより1年間 ※保証期間中でも有償になることがありますので、保証書・本書をよくお読みください。

保証期間の延長について

最長3年間まで延長可能です。(無償保証期間1年 + 追加延長保証2年)

※付属品(付属ケーブル)の保証期間は延長できません。

※保証期間満了後の保証期間延長はできません。また保証期間満了の通知は行いませんので、予めご了承ください。

詳細な内容は本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

免責事項

誤った使い方でのご使用は保証範囲の対象外になりますので、ご注意ください。

また以下のような場合は免責事項として、保証範囲外となりますのでご了承ください。

- ・ 本書に記載する内容以外のご使用で故障および不具合が起きた場合
- ・ お客様ご自身での修理や解体をした場合
- ・ 仕様書に準じていない環境でのご使用により故障および不具合が起きた場合
- ・ 自然災害(火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変)により故障および不具合が起きた場合
- ・ 定格外の電源(異常電圧、異常周波数)での使用により故障および不具合が起きた場合
- ・ 接地(アース線)未接続が原因による故障および不具合が起きた場合
- ・ 16時間を超える連続使用に起因する不具合が起きた場合
- ・ お客様ご自身でご用意された周辺機器(ルーター・無線機器等)との相性により動作に不具合が起きた場合
- ・ お客様ご自身でご用意されたアプリケーションとの相性により動作に不具合が起きた場合
- ・ 接続端子が繰り返しの使用により摩耗し不具合が起きた場合
- ・ ワイヤレスドングル、各種ケーブルが外力により変形・破損した場合

また、上記の原因で発生した物損、人身傷害も責任を負いかねますのでご了承ください。

同梱物一覧

- 本機 1台
- 電源ケーブル 1本
- HDMIケーブル(2.0m) 1本
- リモコン 1台
- リモコン用電池(動作テスト用) ... 2本
- 壁掛け金具一式 1セット
- 保証書 1部

壁掛けについて

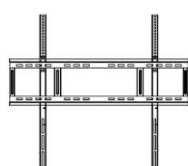
安全上のご注意

- ・ 設置作業は必ず相応の資格がある方が取り付けてください。
- ・ 清潔で修理しやすい、風通しの良い場所に設置してください
- ・ 地面に対して垂直に設置してください。長辺は地面と平行に設置してください
- ・ 周辺は十分なスペースを空けてください
- ・ 可燃ガス、腐食環境に設置しないでください
- ・ 強い電磁波の近くに設置しないでください
- ・ 騒音、振動が強い場所に設置しないでください
- ・ 煙、風、湿気、直射日光、高温の場所に設置しないでください
- ・ その他本設備に危険を与える場所に設置しないでください

設置に関するご注意

- ・ 専用の壁掛けフレーム（壁掛け金具本体）を使用すること
- ・ 専用のネジ（本機取り付け済み、壁掛け金具同梱品）を使用すること
- ・ 設置場所は水、電気、ガスの配管付近を避けること
- ・ 垂直の壁に設置すること
- ・ 十分強度のある壁に設置すること
- ・ 天井吊りなど特殊な設置方法の場合、強度、消防、熱、湿気、メンテナンスなど十分考慮して設置すること

部品一覧



a-1pcs



b-8pcs



c-8pcs

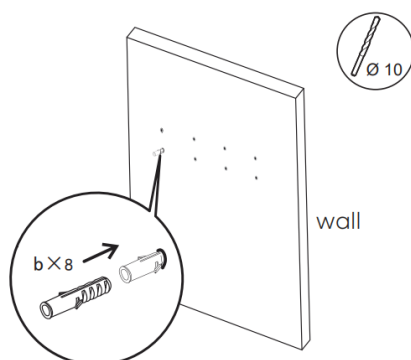


d-8pcs

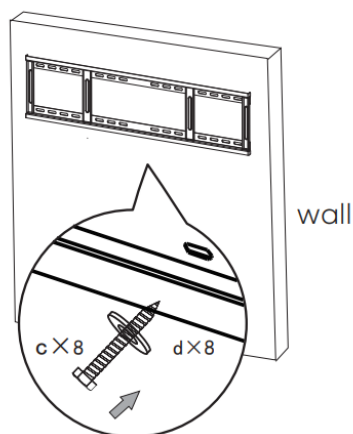
名称	Code	数量	備考
壁掛けフレーム	a	1	壁掛け金具本体
plastic expansion アンカー	b	8	同梱品
6.3*63 ネジ	c	8	同梱品
7mm ワッシャー	d	8	同梱品

壁掛け設置例

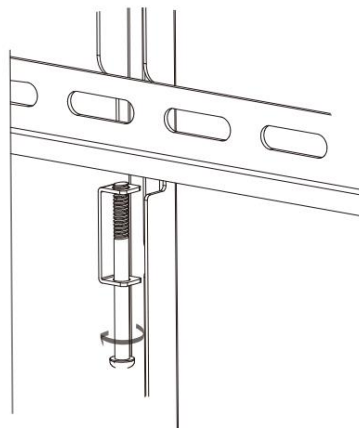
- 1) 設置場所、高さ、ネジ穴を決める
- 2) 10mm ドリルで壁に穴をあける（穴の深さは plastic expansion アンカー 【c】 より長くする）



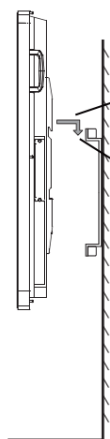
- 3) ハンマーで plastic expansion アンカー 【c】 を完全に穴の中に入れる
- 4) 下図の通り、壁掛けフレーム 【a】 を 6.4*63 ネジ 【c】、7mm ワッシャー 【d】 で plastic expansion アンカー 【b】 に固定する。



- 5) 本体に取付済みの掛け治具の別袋に梱包の固定用長ネジ×2 を仮で取付する。
二番目の穴からネジが約 2 mm 出るまで回す。



- 6) 本体を壁掛けフレーム【a】に掛ける

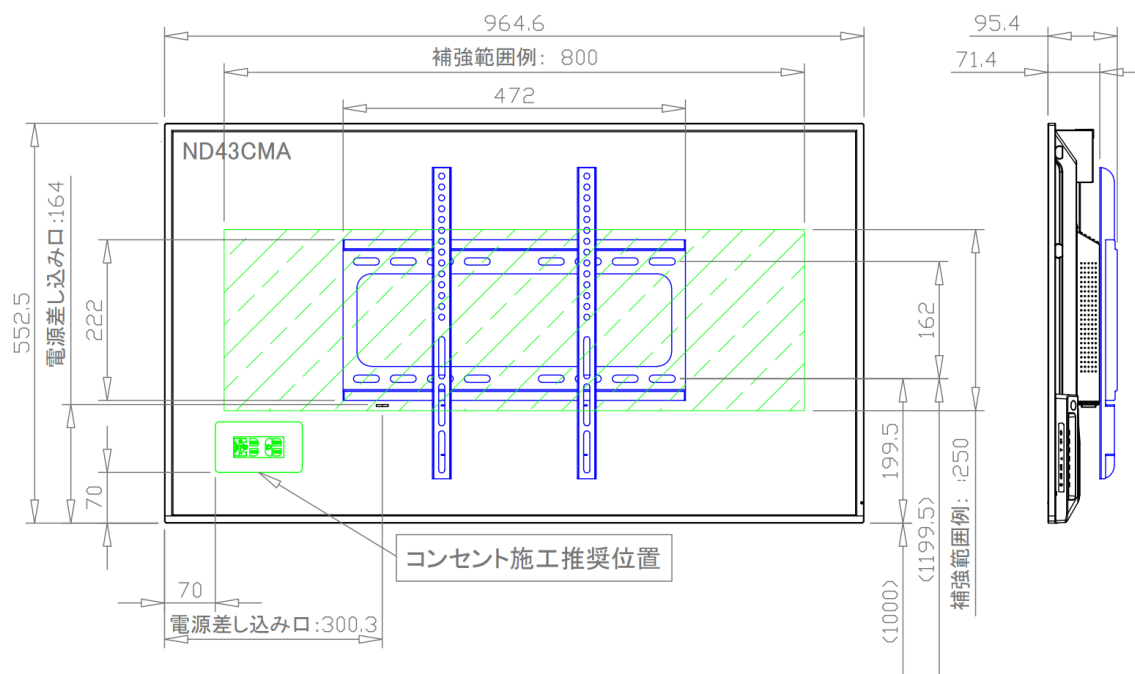


- 7) 本体が壁掛けフレーム【a】の中心に来るように調整する
 8) 固定用長ネジ×2を本体の下側から長軸のドライバーを使用して壁掛けフレーム【a】に当たるまで締めて設置完了

壁掛け設置例（図面）

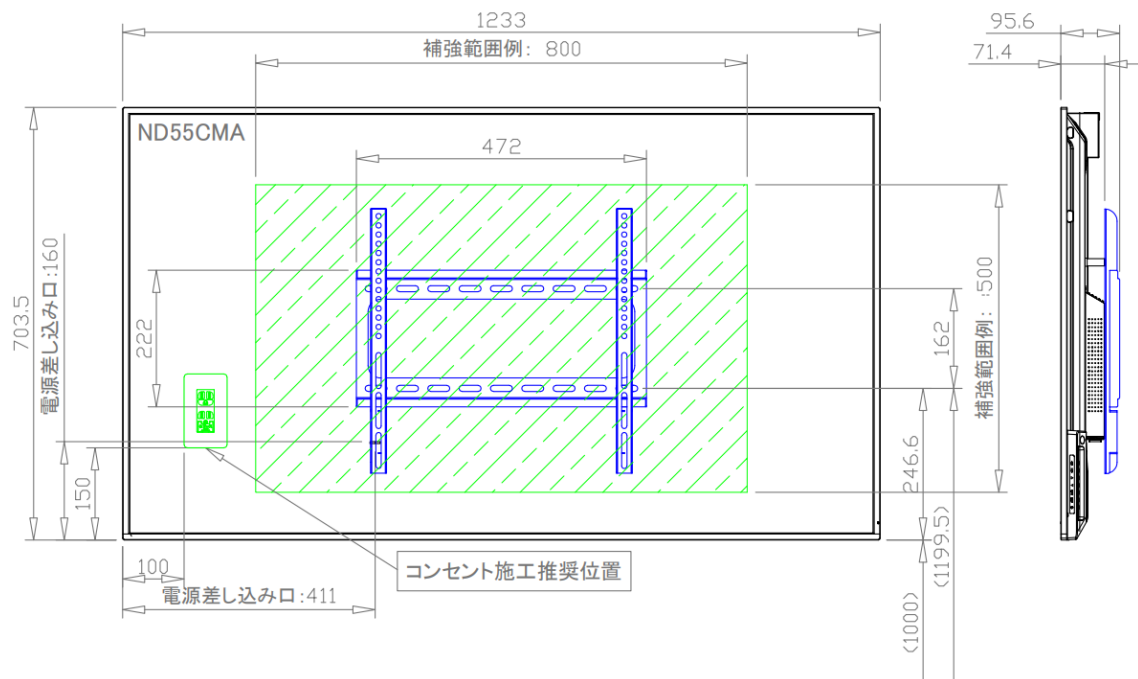
※数値は参考です。実際の環境に応じて設置の高さをご検討ください。

ND43CMA



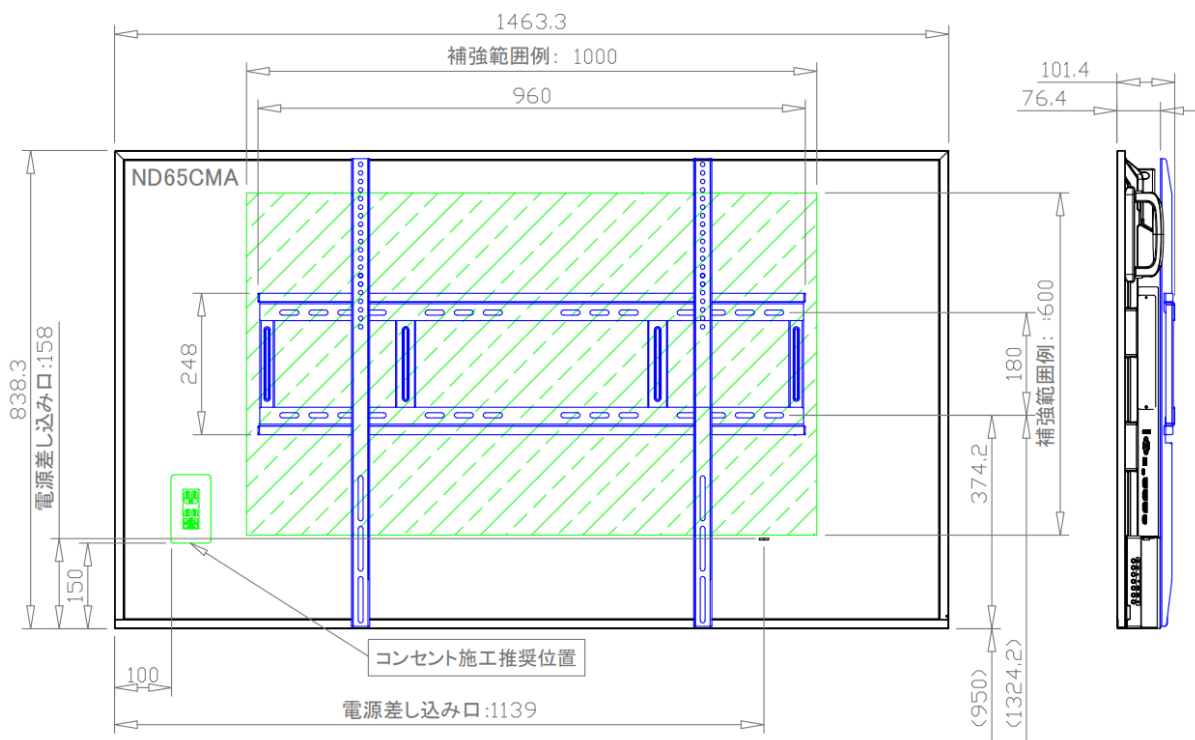
本体と金具の重量 約 10.62kg

ND55CMA



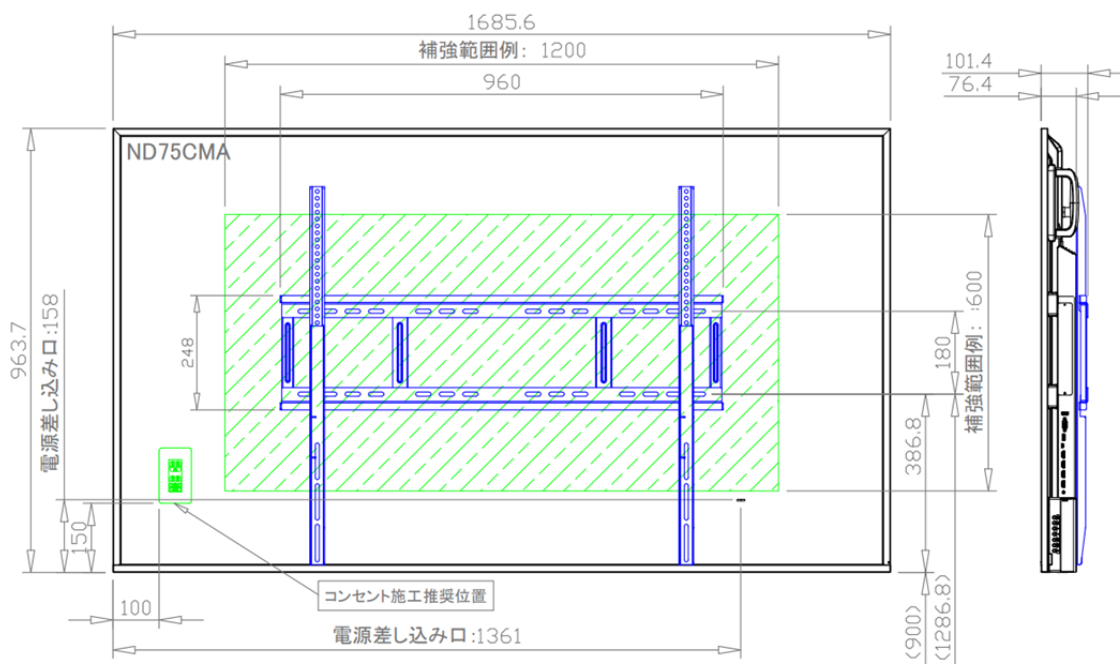
本体と金具の重量 約 14.12kg

ND65CMA



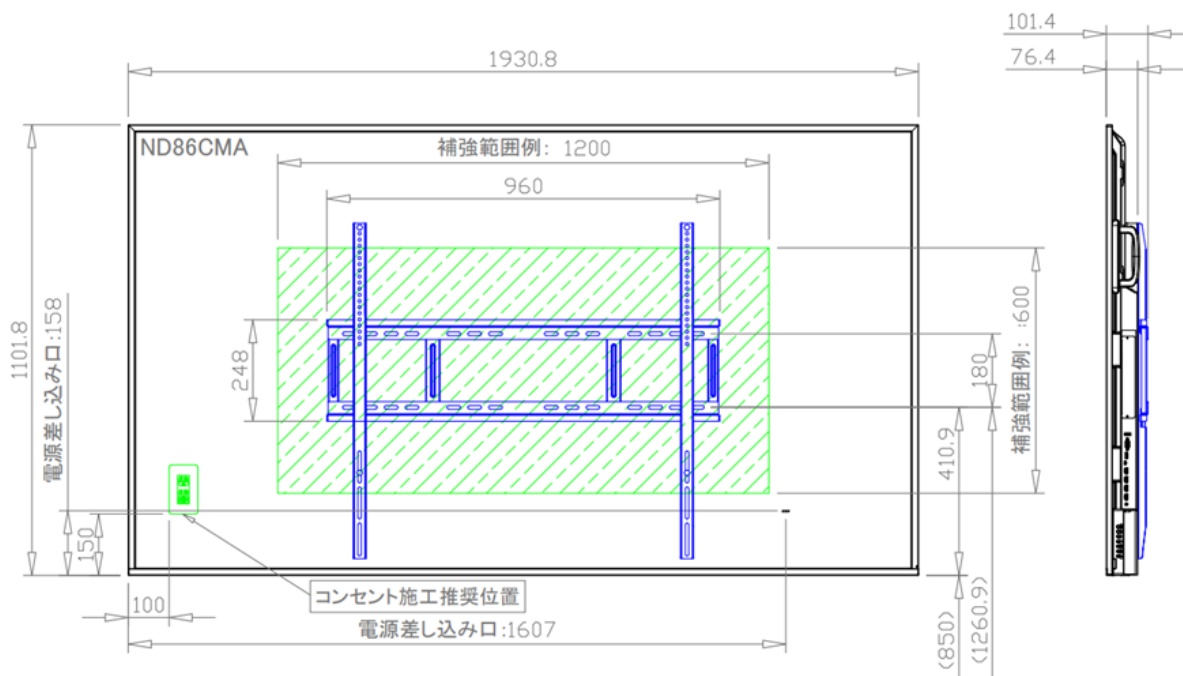
本体と金具の重量 約 29.3kg

ND75CMA



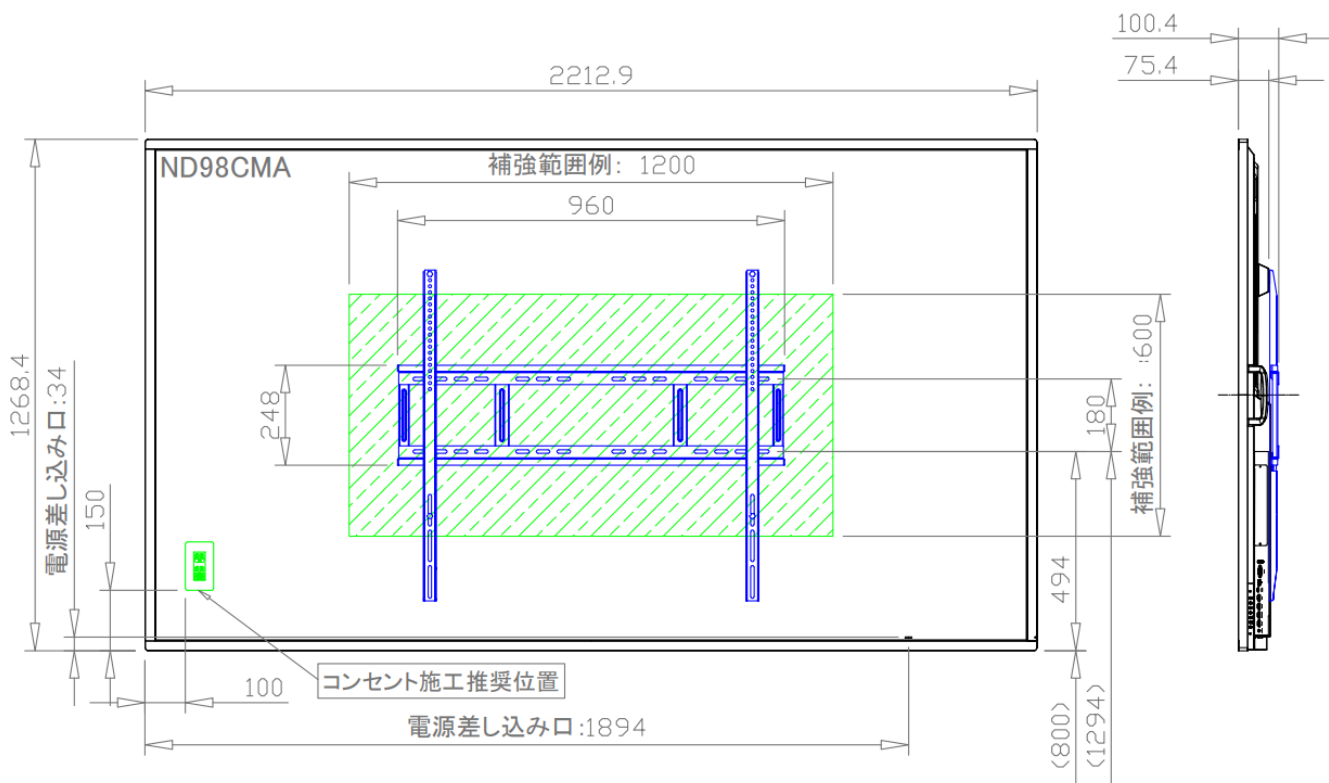
本体と金具の重量 約 38.55kg

ND86CMA



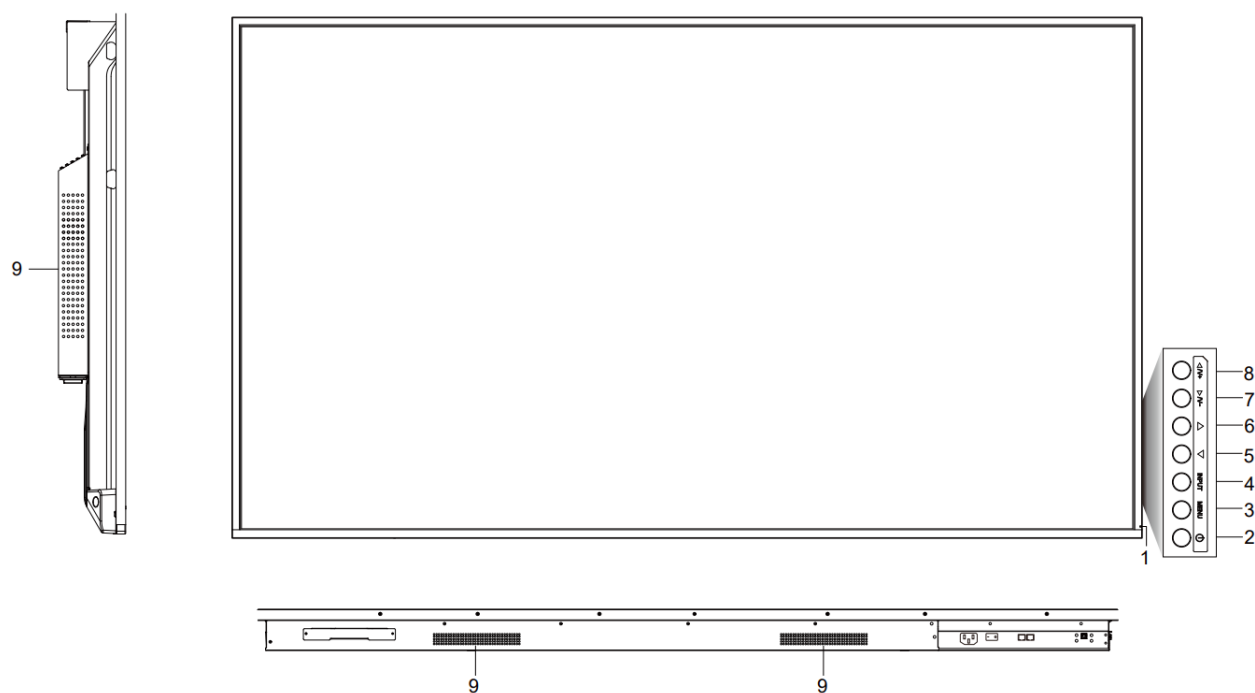
本体と金具の重量 約 47.05kg

ND98CMA



本体と金具の重量 約 73.8kg

各部の機能



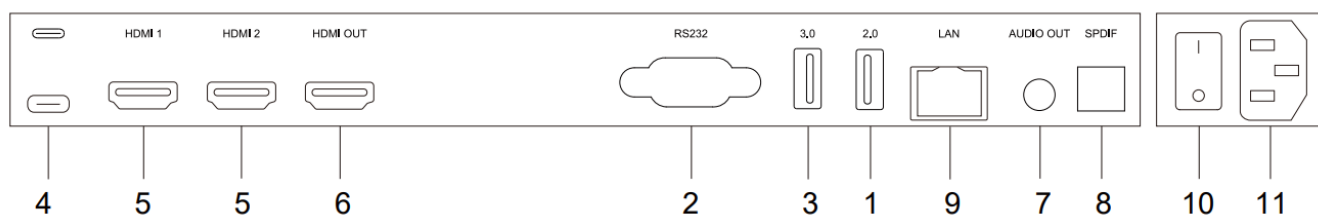
	名称	機能
1	電源表示灯	LED の色によって機器の状態を表示します。 (赤色) シャットダウン (青色) 起動中 (赤色と青色の点滅) スリープ(※1)
2	本機電源ボタン	1 回押すとスリープ(※1)状態にでき、 2 秒以上押すとシャットダウンできます。
3	MENU ボタン	決定ボタン。
4	INPUT ボタン	戻るボタン。ホーム画面で押すと入力切り替え画面が表示されます。 5 秒以上押すとシステムロック機能(※2)を ON/OFF に切り替えができます。
5	◀	選択を左へ移動できます。
6	▶	選択を右へ移動できます。
7	▲	選択を上へ移動できます。
8	▼	選択を下へ移動できます。
9	スピーカー	音声が出力されます。

※1 スリープ…画面を消した状態で、本機を待機状態にします。起動時間が短くなります。

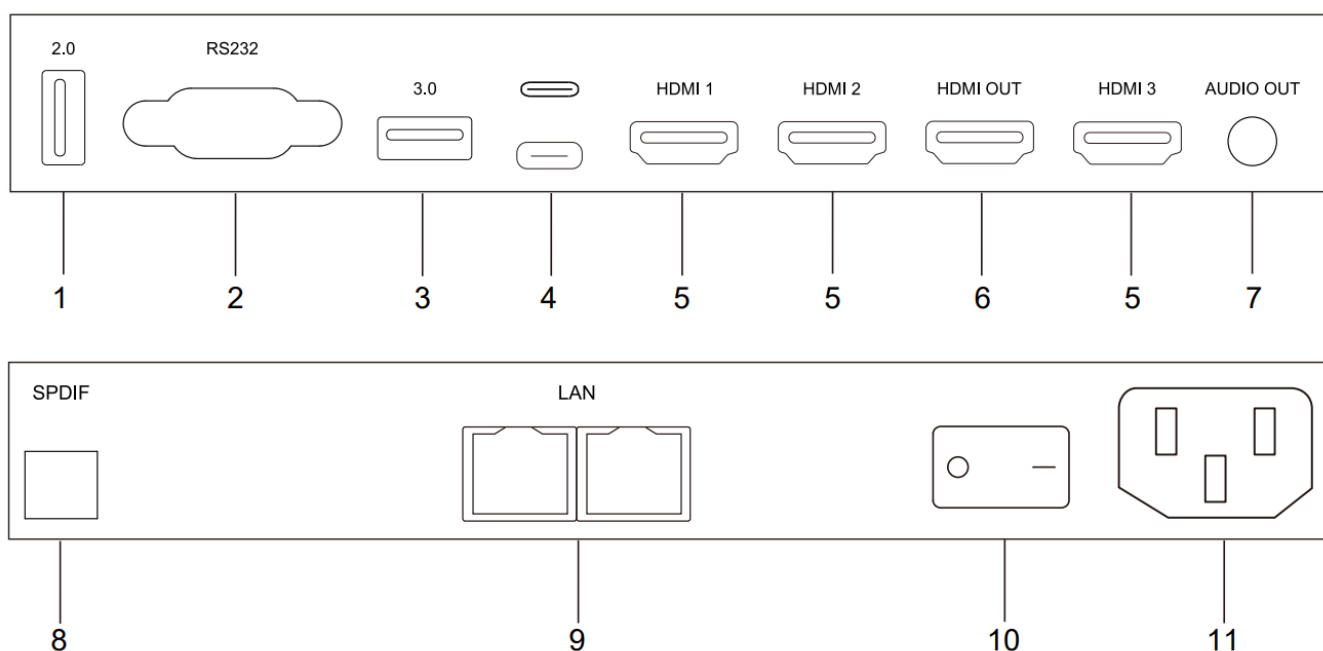
※2 システムロック機能…オンにすると上記 1~9 のボタン操作や、リモコンからの操作を受け付けなくなり、意図しない操作を防ぐことができます。

インターフェース

43・55 型:



65・75・86・98 型:



番号	インターフェース	機能
1	USB Type-A (2.0)	USB メモリやキーボード等の接続に利用できます。
2	RS232	RS232 制御用端子。
3	USB Type-A (3.0)	USB メモリやキーボード等の接続に利用できます。
4	USB Type-C	映像の入力、接続機器の充電等に利用できます。
5	HDMI IN	HDMI 入力端子。(※1)
6	HDMI OUT	HDMI 出力端子。(※2)
7	AUDIO OUT(3.5mm)	音声出力端子。
8	SPDIF	SPDIF 端子。
9	LAN ポート	有線 LAN 接続端子。
10	AC スイッチ(主電源)	“-” はオン、“○” はオフ。
11	AC IN	AC 電源接続端子。

(※1) 65・75・86・98 型の HDMI 3 は、映像を受信することのみできる端子です。

HDMI 3 に接続した機器の映像を、本機を經由して HDMI OUT から他の機器へ出力することはできません。

(※2) Android チャンネル (本機標準画面) の映像を、他の機器に出力することはできません。

本機電源操作

■ 電源オン

- 1) 電源ケーブルのメスコネクタを本機に挿します。
- 2) 電源ケーブルの差し込みプラグをコンセントに挿します。(この時必ずアースに接続してください)
- 3) AC スイッチを ON にします。(電源表示灯の LED が赤に点灯します)
- 4) 本機電源ボタンを 1 回押します。(電源表示灯の LED が青に点灯します)

■ 電源オフ

本機電源ボタンを 2 秒以上長押しして、「システムをシャットダウンしますか？」のメッセージが出たら、「OK」を押します。※電源が ON の状態で AC スイッチを切ると故障の原因となる可能性がありますのでご注意ください。

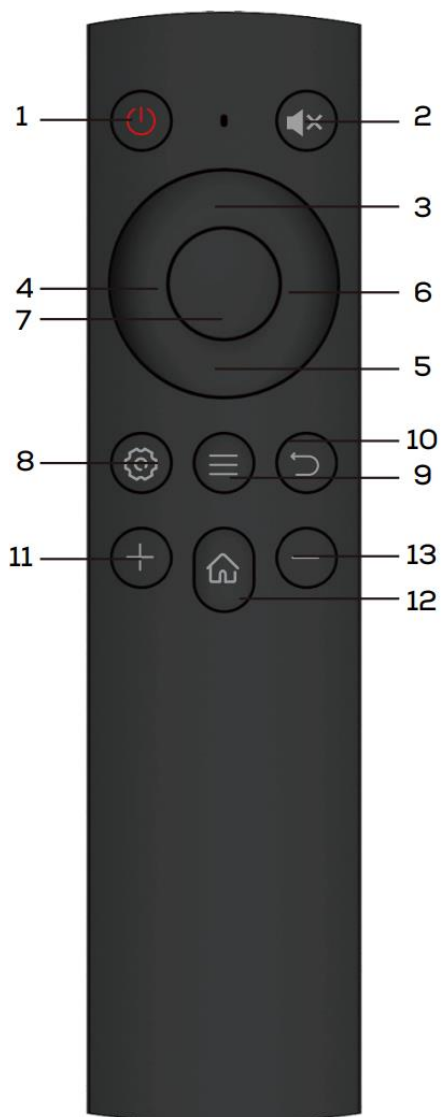
■ スリープ

本機電源ボタンを一回押すと液晶が OFF になり、電源表示灯の LED が赤色と青色で交互に点滅します。スリープから復帰させるには本機電源ボタンを一回押します。

リモコン

リモコンのボタン操作説明

・リモコンのイメージ図



・ボタンの機能説明

番号	機能
1	電源ボタン 1回押すとスリープ状態にでき、 2秒以上押すとシャットダウンできます。
2	ミュートモードへの移行・終了をします。
3	選択を上へ移動できます。
4	選択を左へ移動できます。
5	選択を下へ移動できます。
6	選択を右へ移動できます。
7	決定ボタン。
8	設定メニューを表示します。
9	入力切り替え画面を表示します。
10	戻るボタン
11	音量を上げます。
12	ホーム画面を表示します。
13	音量を下げます。

リモコンの使い方

■ 電池の取り付け

- 1) リモコンの背面にある電池部のカバーを開けます。
- 2) 対応する電極に合わせて、単4形電池を取り付けます。
電池のプラス極とマイナス極が正しいことを確認してください。
- 3) 電池を取り付けた後、リモコンのカバーを閉じて、クリップを底面に留めてください。

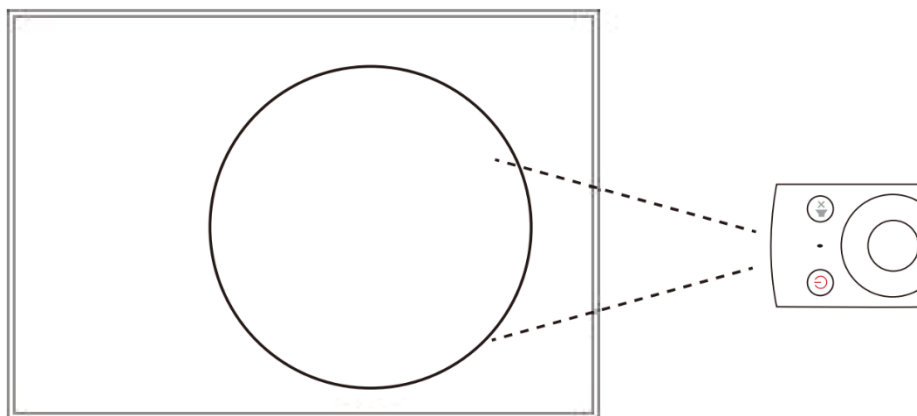
△誤った種類の電池を使用すると、爆発する恐れがあります。

■ リモコンの範囲

リモコンの操作範囲は8m、リモコン受光部から左右に30度です。

ディスプレイ側のリモート受信機は、パネルの裏側にあります。

備考：環境保護のために使い終わった電池はリサイクルボックスに捨ててください。



ホーム画面

本機起動後に表示される画面です。



① すべてのアプリ


以下のようにすべてのアプリが表示されます。



(初期インストールアプリ：設定、Browser、Cloud Drive、Finder、MAXHUB Pivot、MediaPlayer、ScreenShare)

※MAXHUB Pivotのご利用には別途ご契約が必要です。

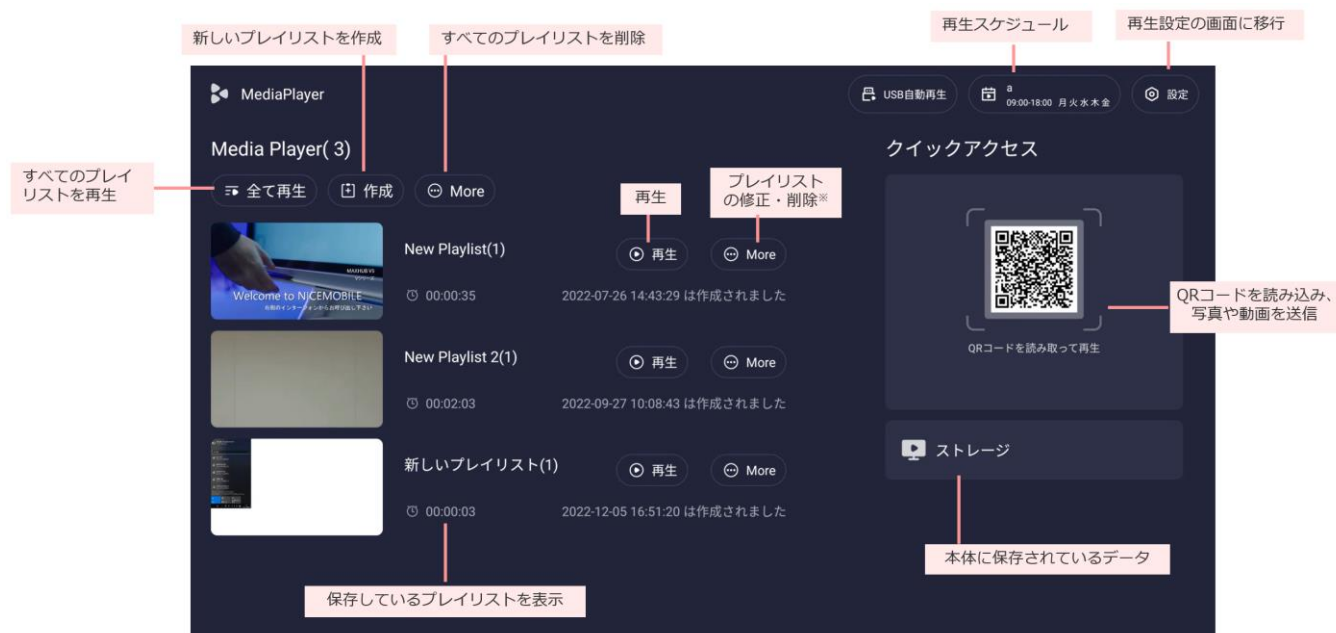
② 入力切り替え

リモコンの  ボタンもしくは、本機の INPUT を押すことで入力切り替えの変更画面が表示され、HDMI1、HDMI2、HDMI3、Type-C、Android (本機画面) の切り替えができます。また、バックライトの強さや音量の調整もできます。



MediaPlayer

プレイリストや動画の再生スケジュールを設定できます。



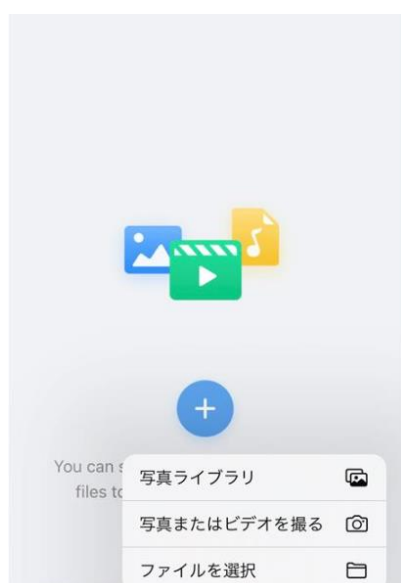
※個別プレイリストの「More」詳細は【[プレイリストの作成](#)>5】を参照

クイックアクセス

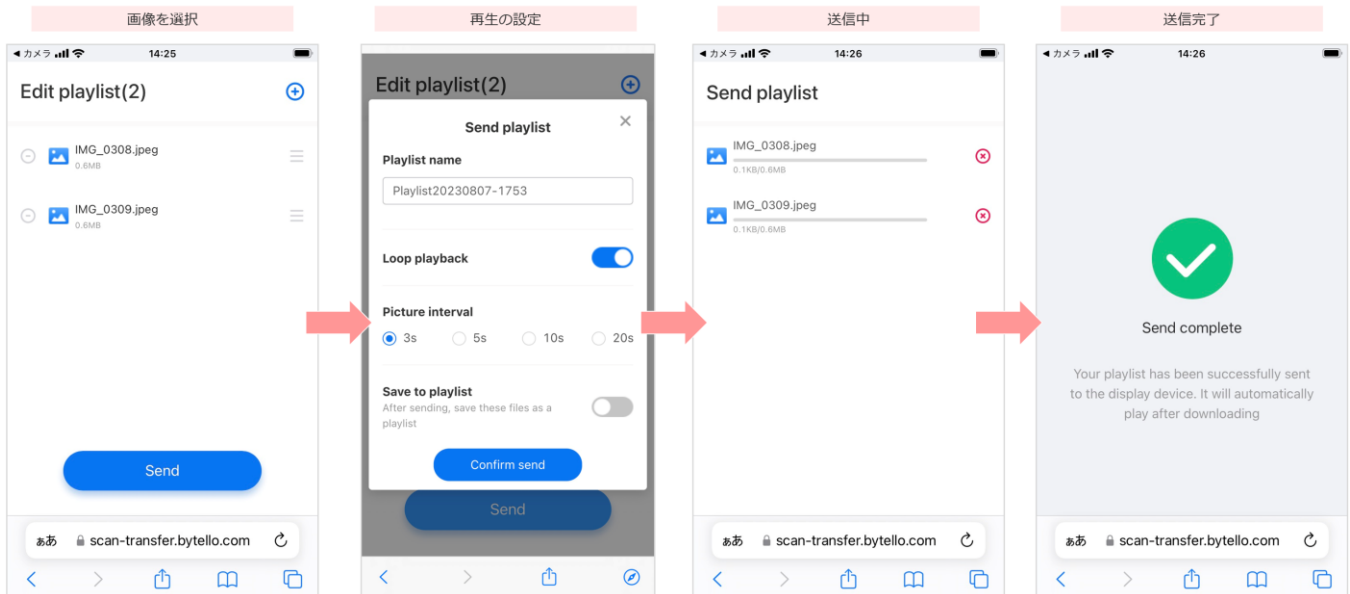
※クイックアクセス機能を使用するには、オプションの Wi-Fi モジュールもしくは有線 LAN 接続でネットワークに接続する必要があります。

MediaPlayer の QR コードをスマートフォンで読み込むことで、動画や画像などのメディアファイルを本機に保存し、スマートフォン上でプレイリストの作成が可能になります。

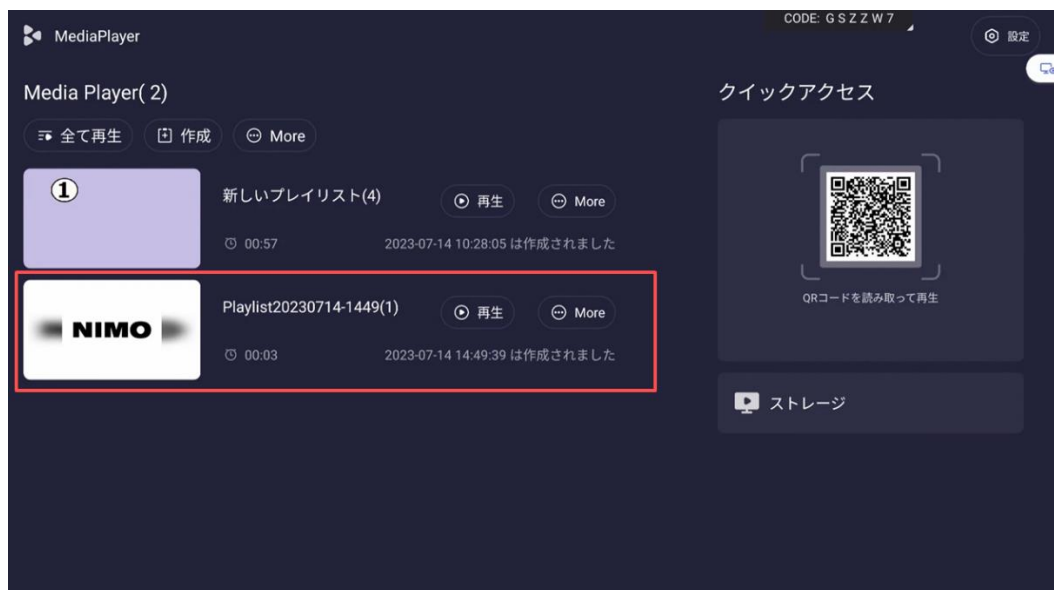
- 1) QR コードをスマートフォンで読み込みます。
- 2) 真ん中の+マークをタップすると、アップロードするファイルの種類（写真、ビデオ、オーディオなど）がポップアップ表示されます。



- 3) スマートフォンのアルバムから写真を選択後、プレイリスト名 (Playlist name)、ループ再生 (Loop playback)、画像再生の時間間隔 (Picture interval)、本機への保存の有無 (Save to Playlist) を設定します。
設定完了後、Confirm send を押して本機へ送信します。



- 4) 送信完了後、画像の再生が始まります。
Save to Playlist を有効にした場合はプレイリストが作成されます。



プレイリストの作成

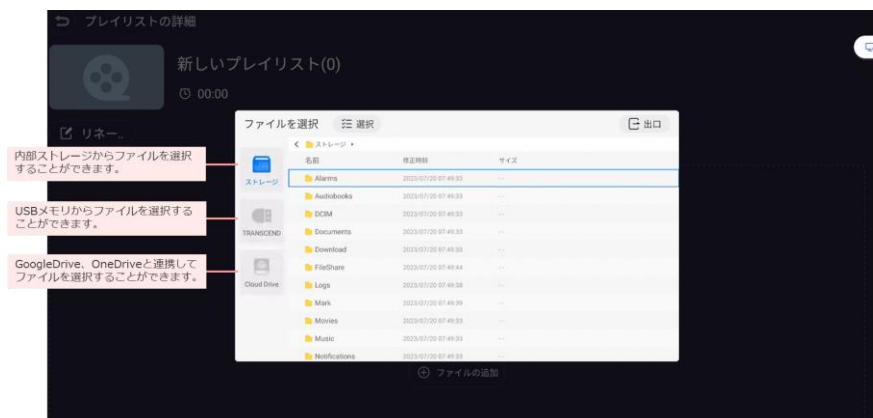
- 1) 「マイプレイリストの作成」を選択します。



- 2) 「ファイルの追加」を選択します。



- 3) 内部ストレージ、USB メモリ、クラウドストレージのいずれかから、ファイルを選択します。
備考：クラウドストレージは GoogleDrive、OneDrive との連携が可能です。



4) ファイル選択後、プレイリストが作成されます。



5) プレイリスト作成後「More」を押すと、削除、リネーム、順番の入れ替え、USBメモリへの書き出しができます。



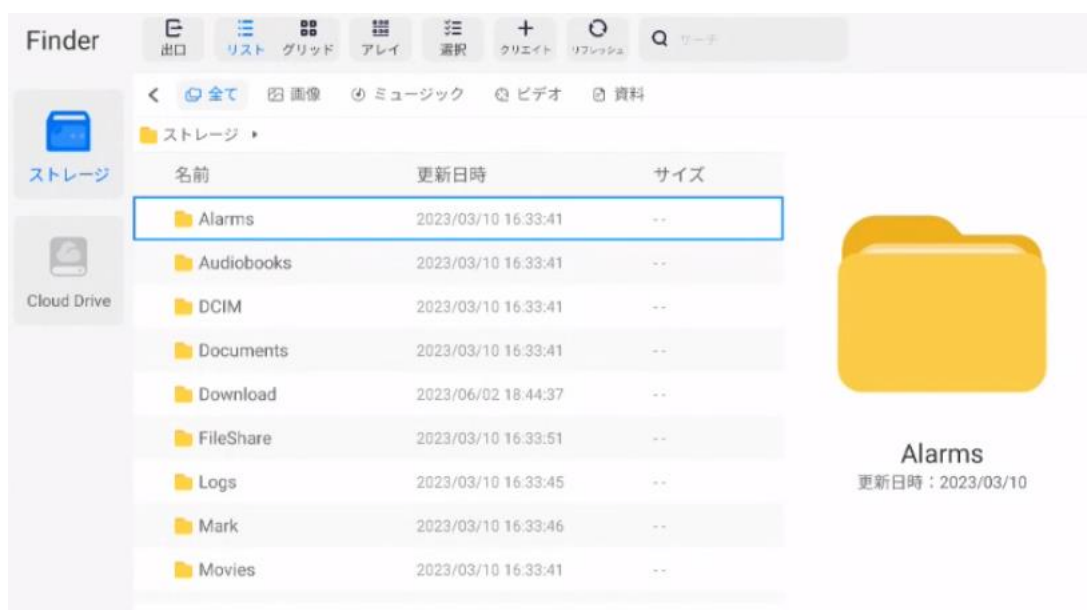
MediaPlayer の設定



Finder

本体のストレージ、USB メモリ、クラウドのデータを表示します。

USB メモリやクラウドのデータを使ってプレイリストを作成できます。



ワイヤレス画面共有

専用アプリケーション(以下 MAXHUB Share) またはワイヤレスドングル (オプション) を使用して、PC・タブレット・スマートフォンの画面を表示できます。最大 4 画面を同時に表示できます。

備考：ワイヤレス画面共有の通信は、**ポート:7382-7435 プロトコル:TCP/UDP** を使用します。PC や本機にセキュリティソフトがインストールされている場合、通信が遮断されワイヤレス画面共有に失敗することがあります。その場合セキュリティソフト側で上記の通信情報を許可してご利用ください。(セキュリティソフトの操作・設定方法についてはソフトウェアの販売元にお問い合わせください。)

備考：Wi-Fi モジュールはオプションです。Wi-Fi の有無や有線 LAN 接続の有無によって使用できる機能が異なります。以下の表をご確認ください。

	Wi-Fi モジュールあり	Wi-Fi モジュールなし	
		有線 LAN 接続あり	有線 LAN 接続なし
Wi-Fi 機能	○	×	×
Bluetooth 機能	○	×	×
ホットスポット機能	○	×	×
MAXHUB Share を使用しての画面共有	○	○※	×
ファイル転送機能	○	○※	×
ワイヤレスドングルの利用	○	×	×
apple 製品の AirPlay 機能	○	×	×
MediaPlayer のクイックアクセス機能	○	○	×
MAXHUB Pivot の利用	○	○	×

※PC・タブレット・スマートフォンを本機と同一ネットワークに接続すれば利用可能

MAXHUB Share について

ホーム画面の「ScreenShare」を選択すると画面共有ページが表示されます。画面共有ページには MAXHUB Share の使用方法が記載されています。MAXHUB Share を使用するとワイヤレスドングルを使用せずに画面共有が可能です。

また、PC 版 MAXHUB Share はファイル転送機能等、ワイヤレスドングルには無い機能が利用できることが特長です。

画面共有ページの説明



番号	項目	機能
①	QR コード	アプリ版「MAXHUB Share」のダウンロードリンクを開きます。
②	接続コード	MAXHUB Share で本機と端末を接続する時に使用します。
③	ホットスポット情報※	本機のホットスポットの SSID とパスワードが表示されます。
④	ファイル転送	本機と MAXHUB Share で接続した端末間でファイルの送受信ができます。
⑤	設定	各種設定が表示されます。
⑥	接続コードの表示	画面上部に表示されている接続コードの表示、非表示を選択できます。
⑦	セーフモード	ON にすると MAXHUB Share で本機と端末を接続する時に 4 桁の認証コードが必要になります。認証コードは本機画面上に表示されます。
⑧	デバイスの検出※	ON にすると X-link や MAXHUB Share 等で本機を検索可能になります。
⑨	自動フルスクリーン	ON にすると MAXHUB Share で接続した端末のアスペクト比(液晶画面の横と縦の比率)とは関係なく、本機にフルスクリーンで投影します。

※オプションの Wi-Fi モジュールが必要です。

PC 版「MAXHUB Share」の使用方法

1. MAXHUB Share のインストール

MAXHUB 公式 WEB サイトから PC 版 MAXHUB Share をダウンロードし、PC にインストールします。

https://www.maxhub.com/jp/maxhub_share

※対応 OS: Windows 7 以上/MacOS10.11 以上/Android5.0 以上/iOS11.0 以上

PC と本機を接続する方法

PC と本機を接続する方法は「接続コードを利用して接続する方法」と「デバイス検索を利用して接続する方法」の 2 通りあります。

○接続コードを利用して接続する方法

- 1) PC を本機のホットスポットに Wi-Fi 接続するか、PC と本機を同一ネットワーク接続します。
- 2) MAXHUB Share を起動し、本機に表示されている接続コードを入力し Enter キーを押すと接続完了です。



○デバイス検索を利用して接続する方法

- 1) 本機のホットスポットを ON にします。(オプションの Wi-Fi モジュールが必要です)
- 2) PC の Wi-Fi 機能を ON にします。(Wi-Fi 機能がない PC はデバイス検索機能をご利用いただけません。)
- 3) MAXHUB Share を起動し、「付近の MAXHUB」を選択すると PC 付近の MAXHUB を検索します。
- 4) 検索された MAXHUB を選択すると接続完了です。



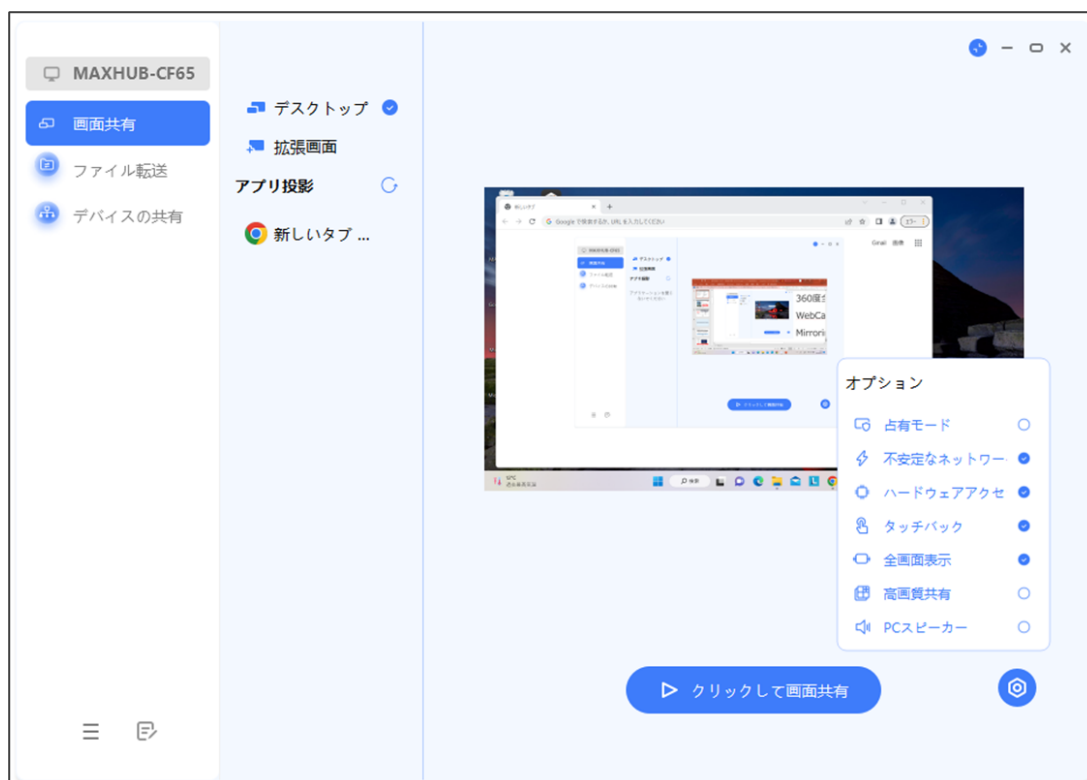
2. 画面共有をする

本機との接続後、「画面共有に参加」を選択すると画面共有が開始されます。この時、「他の画面共有を終了します」にチェックを入れてから画面共有を行うと、他の端末からの画面共有を中断して画面共有を行えます。



3. 画面共有の詳細設定

本機との接続後、「画面共有に参加」か「プレビュー」を選択すると、画面共有の詳細設定ができます。

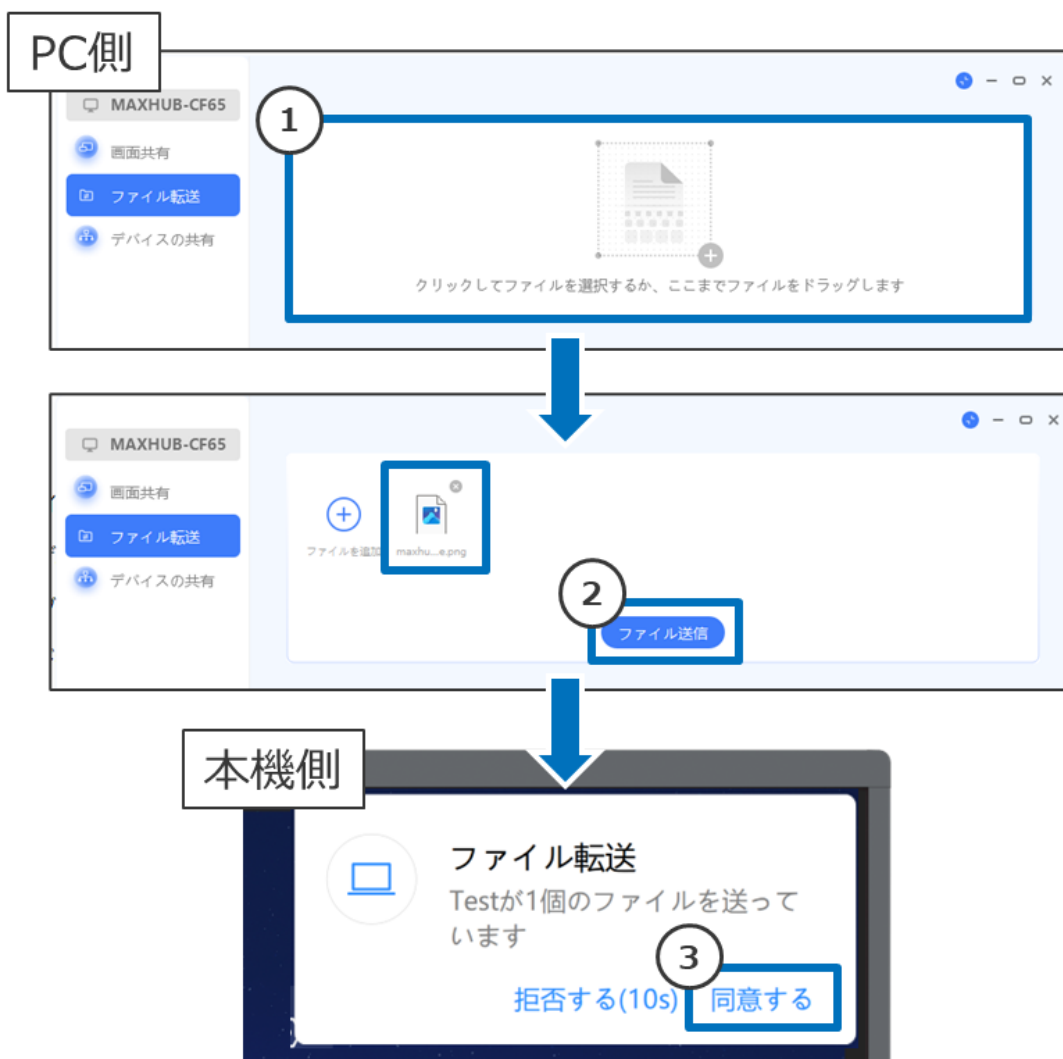


4. ファイル転送

本機と接続した PC とファイルの送受信ができます。

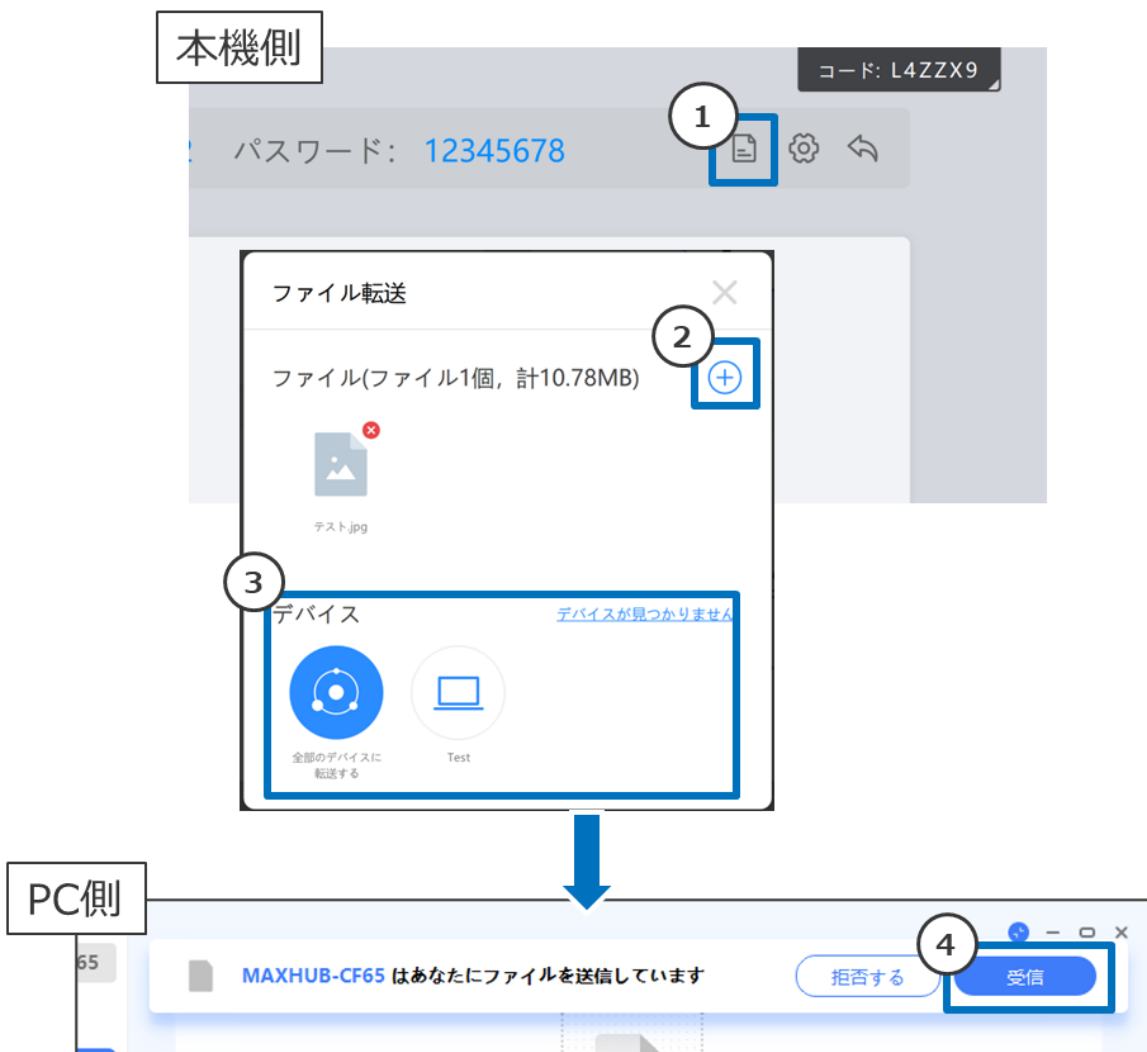
PC から本機へファイルを送信する場合

- 1) ファイル転送で送信するファイルを追加します。
- 2) ファイルの追加が終了した後、ファイル送信を選択します。
- 3) 本機右上に表示されるポップアップの「同意する」を選択します。
- 4) 本機にファイルが保存されます。



本機から PC へファイルを送信する場合

- 1) 画面共有ページでファイル転送ボタンを選択します。
- 2) 送信するファイルを選択します。
- 3) 送信する PC を選択してファイルを送信します。
- 4) MAXHUB Share に表示されるポップアップの「同意」を選択します。
- 5) PC にファイルが保存されます。



アプリ版「MAXHUB Share」の使用方法

- 1) 画面共有ページの QR コードをスマートフォンで読み取り、MAXHUB Share をダウンロードし、インストールします。
- 2) スマートフォンを本機のホットスポットに Wi-Fi 接続するか、スマートフォンと本機を同一ネットワークに接続します。
- 3) MAXHUB Share を起動し、本機に表示されている接続コードを入力して接続します。
- 4) 「画面共有開始」を選択すると画面共有が始まります。

備考 1 : iPhone は MAXHUB Share の他、Airplay を使用して画面共有ができます (オプションの Wi-Fi モジュールが必要です)。

備考 2 : Android 端末は、アプリのインストール時に下記の通り許可設定を行う必要がある場合があります。

ダウンロード後、インストールを実行すると、「不明なアプリをインストールすることはできません。」と表示されるため、「設定」を押したあとインストールを押します。



ワイヤレスドングルの使用方法（オプション）

※ワイヤレスドングルを利用する場合は、オプションの Wi-Fi モジュールが必要です。

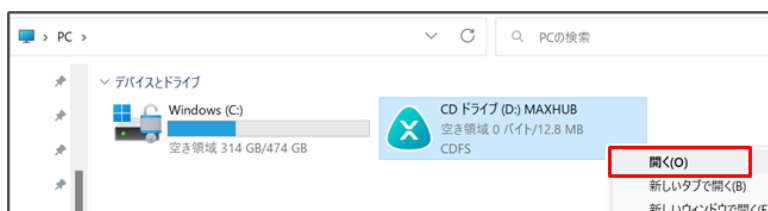
1. ワイヤレスドングルと本機をペアリングする（初回のみ）

- 1) 本機が起動している状態でワイヤレスドングルを本機の USB Type-C 端子に接続します。
- 2) 「ペアリングが成功しました」という表示が出たことを確認し取り外します。

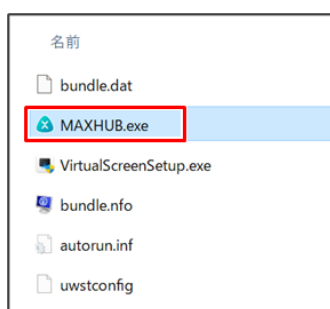
2. ワイヤレスドングルを PC に接続（Windows PC の場合）

- 1) ワイヤレスドングルを USB Type-C 端子、または付属の Type-A 変換器を付けて PC の USB 端子に接続します。
 - ・ USB Type-A で接続した場合（初回接続時のみ）

Windows の PC（マイコンピュータ）を開き、「CD ドライブ MAXHUB」を右クリックし「開く」を選択します。



「MAXHUB.exe」をダブルクリックし、画面共有ソフトウェアを起動します。



備考：初回接続時のみ画面共有ソフトウェアのインストールが必要になります。

2 回目以降はワイヤレスドングルを PC に接続すると自動でソフトウェアが起動します。



下図が表示され、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。

この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。



- USB Type-A で接続した場合（2 回目移行の接続時）

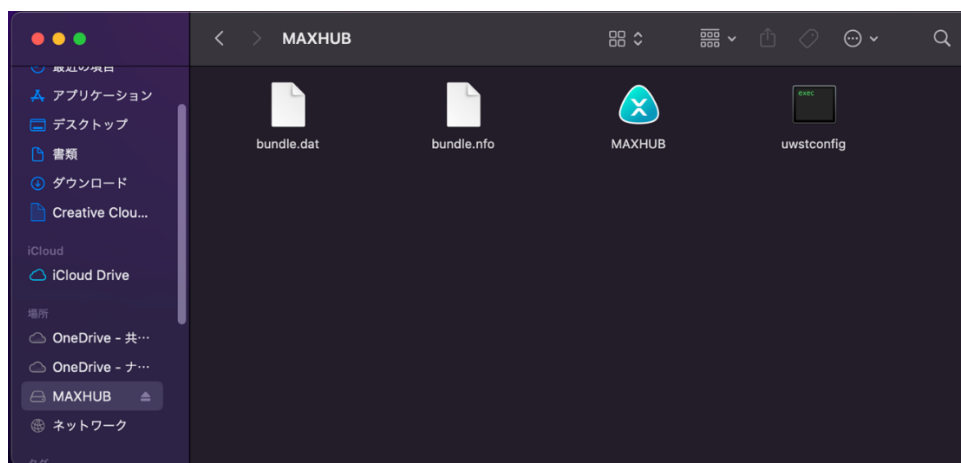
ワイヤレスドングル接続後 10 秒～20 秒経過すると画面共有ソフトウェアが自動で起動し、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。

- USB Type-C で接続した場合

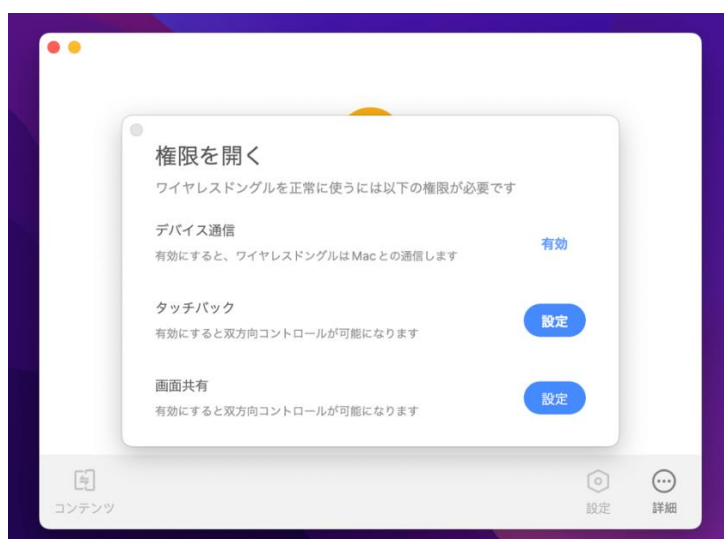
ワイヤレスドングル接続後 10 秒～20 秒経過するとワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。

3. ワイヤレスドングルを PC に接続（Mac の場合）

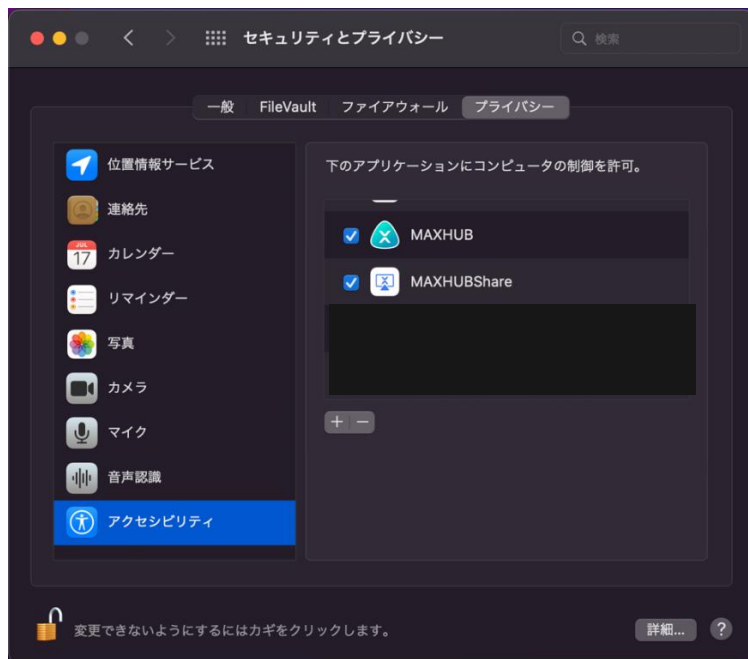
- 1) ワイヤレスドングルを USB 端子に接続します。
- 2) デスクトップに表示された MAXHUB ドライブを開きます。
- 3) MAXHUB.app を実行します。



- 4) 10 秒～15 秒待ち、下図のように権限を求められたら「設定」を押します。



- 5) 「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」の画面が出てきたら、
鍵マークをクリックして使用する mac のパスワードを入力します。
- 6) 鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵マークを押します。



- 7) 下図が表示されたら、ワイヤレスドングルのボタンを押し画面共有を開始します。



4. ワイヤレスドングルの操作 (Windows・mac 共通)

- ボタンを 1 回押す…ワイヤレスドングルのランプ点灯時、1 台の端末の画面共有を開始します。再度押すと画面共有を終了できます。
- ボタンを長押し…既に他の端末で画面共有を行っている場合、複数端末での画面共有を開始できます。

5. 画面共有ソフトウェアの操作

画面共有ソフトウェアでは画面共有する時の設定や、画面共有するコンテンツの選択ができます。



番号	項目	機能
1	終了	画面共有ソフトウェアを終了します。
2	画面共有の開始	画面共有を開始します。
3	最小化	画面共有ソフトウェアを最小化します。
4	プレビュー	画面共有の設定を変更したり、プレビューを確認できたりします。
5	占有モード	ON にして画面共有をすると、他の画面共有を終了できます。 OFF にして画面共有をすると、複数端末での画面共有ができます。
6	コンテンツ	画面共有する内容を選択できます。 ワイヤレス dongle を Type-C 端子で接続した場合、アプリ投影は利用できません。

- プレビュー



備考：ワイヤレスドングルは PC の USB Type-A 端子に接続した場合と USB Type-C 端子（オルタネートモード対応）に接続した場合で、設定できる項目や仕様が異なります（ワイヤレスドングルを**オルタネートモード対応の Type-C 端子**に接続した場合、外部ディスプレイとして認識されます）。以下の表をご確認ください。

項目	機能	Type-A	Type-C
画面共有ソフトウェアのインストール	-	必要	不要
占有モード	ON にすると画面共有への割り込みを禁止できます。	○	○*
不安定なネットワークモード	ON にすると画面共有の遅延やカクつきを抑制します。 画面共有の画質が低下することがあります。	○	×
ハードウェアアクセラレーション	ON にすると画面共有のパフォーマンスが向上します。 画面が暗くなる等の異常が出た場合は OFF にしてください。	○	×
全画面表示	OFF にすると PC の映像のアスペクト比をそのまま画面共有ができません。	○	×
高画質共有	ON にすると画面共有の画質が向上します。 画面共有の遅延やカクつきが大きくなる可能性があります。	○	×
X-link	付近の MAXHUB 製品を検索して接続できます。	○	○*
拡張画面	本機を PC の拡張画面として使用できます。	○	○
アプリ投影	指定したアプリケーションのみを画面共有できます。	○	×

* 画面共有ソフトウェアを別途インストールした時のみ使用可能です。

・ 拡張画面の使用方法

備考：USB Type-A 接続の場合、初回使用時のみ拡張画面ドライバーのインストールが必要になります。

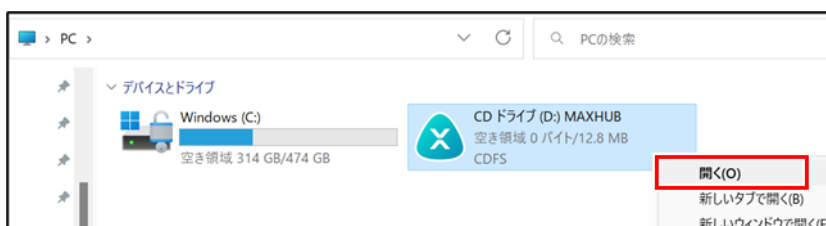
- 1) ワイヤレスドングルを PC の USB 端子に接続します。
- 2) 「共有画面できます」と表示されたらワイヤレスドングルのボタンを押します。
- 3) PC の画面上部にカーソルを移動し、表示されたドングルツールバーの「コンテンツ」→「拡張画面」→「デスクトップ拡張画面」をクリックすると、拡張画面が共有されます。
※タッチモードが自動的に無効になります
- 4) 複製画面にする場合はドングルツールバーの「コンテンツ」→「デスクトップ」をクリックして有効にします。

PC 画面上部に表示される「ドングルツールバー」



・ 拡張画面ドライバーのインストール方法

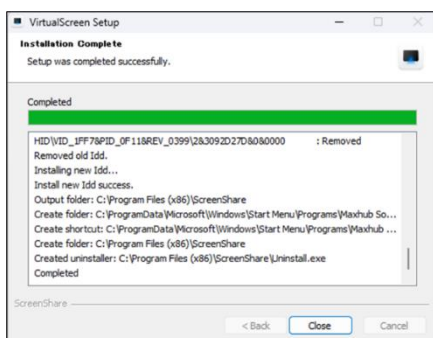
- 1) ワイヤレスドングルを PC の USB 端子に接続します。
- 2) PC (マイコンピュータ)を開き、「CD ドライブ MAXHUB」を右クリックし「開く」を選択します。



- 3) 「VirtualScreenSetup.exe」を右クリックし「管理者として実行」を選択します。

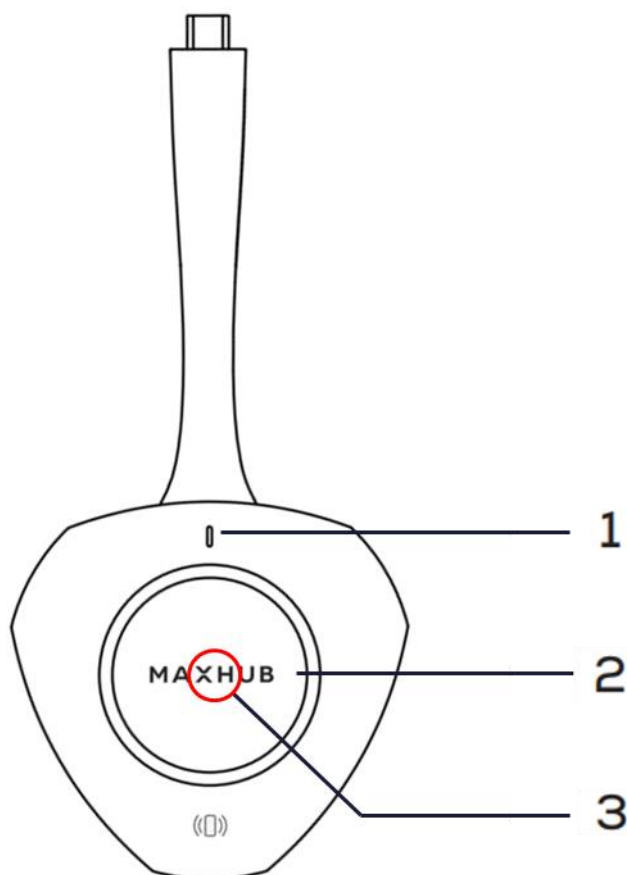


- 4) インストール終了後、PC を再起動して完了です。



ワイヤレスドングル (WT13M) の説明

※ワイヤレスドングルはオプションです。



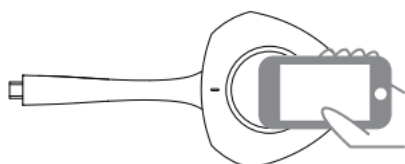
番号	インターフェース	機能
1	インジケータランプ	ワイヤレスドングルのステータスを確認できます。
2	ボタン	画面共有の開始/終了ができます。 1回押す：1台の端末の画面共有を開始できます。 再度押すと画面共有を終了できます。 長押し：既に他の端末で画面共有を行っている場合、複数端末での画面共有を開始できます。
3	NFC センサー	NFC 機能を持ったスマートフォンを <u>ワイヤレスドングル中心部にある</u> NFC センサーにかざすと、画面共有アプリケーション「MAXHUB Share」から画面共有できます。「MAXHUB Share」がインストールされていない場合、ダウンロードサイトに移行します。

インジケータランプの説明

- ・ 白い点灯
PCにワイヤレスドングルを接続していない時：ワイヤレスドングルを持ったり、動かしたりすると点灯します。
白い点灯状態でPCにワイヤレスドングルを接続すると、本機との接続時間が短くなります。
PCにワイヤレスドングルを接続した時：本機との接続が完了
- ・ 白い点滅
PCにワイヤレスドングルを接続した状態で本機との接続が完了していない時
- ・ 青い点灯
ワイヤレスドングルと本機のペアリング中 or ペアリングが完了した時
- ・ 緑の点灯
画面共有の実行中

NFC センサーの使用方法（例：iPhone 使用時）

- 1) ワイヤレスドングルを本機とペアリングします。（初回のみ）
- 2) ワイヤレスドングルの NFC センサーの上にスマートフォンの NFC センサーを合わせ、1 秒間以上保持します。



- 3) NFC が反応し通知が表示されたらタップして MAXHUB Share をインストールします。（初回のみ）



- 4) MAXHUB Share をインストール後に iPhone を本機のホットスポット、もしくは本機と同じホットスポットに接続させて「次へ」をタップしてください。
 ※ホットスポットに接続していない場合、下図の真ん中のように表示されます。

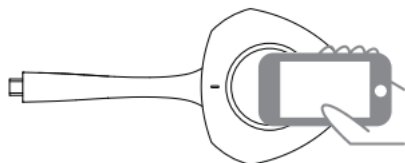


- 5) 本機に表示されている接続コード(PIN コード)を入力し、「画面共有開始」 - 「ブロードキャストを開始」をタップすると、画面共有が開始します。



NFC センサーの使用方法（例：Android 使用時）

- 1) ワイヤレスドングルを本機とペアリングします。（初回のみ）
- 2) ワイヤレスドングルの NFC センサーの上にスマートフォンの NFC センサーを合わせ、1 秒間以上保持します。



- 3) NFC が反応し通知が表示されたらタップして MAXHUB Share をインストールします。（初回のみ）



- 4) MAXHUB Share をインストール後に Android 機器を本機のホットスポット、もしくは本機と同じホットスポットに接続させて「はい、次のステップ」をタップしてください。
※ホットスポットに接続していない場合、下図の左のように表示されます。



- 5) 本機に表示されている接続コード(PIN コード)を入力し、「キャストを開始します」をタップすると画面共有が開始します。



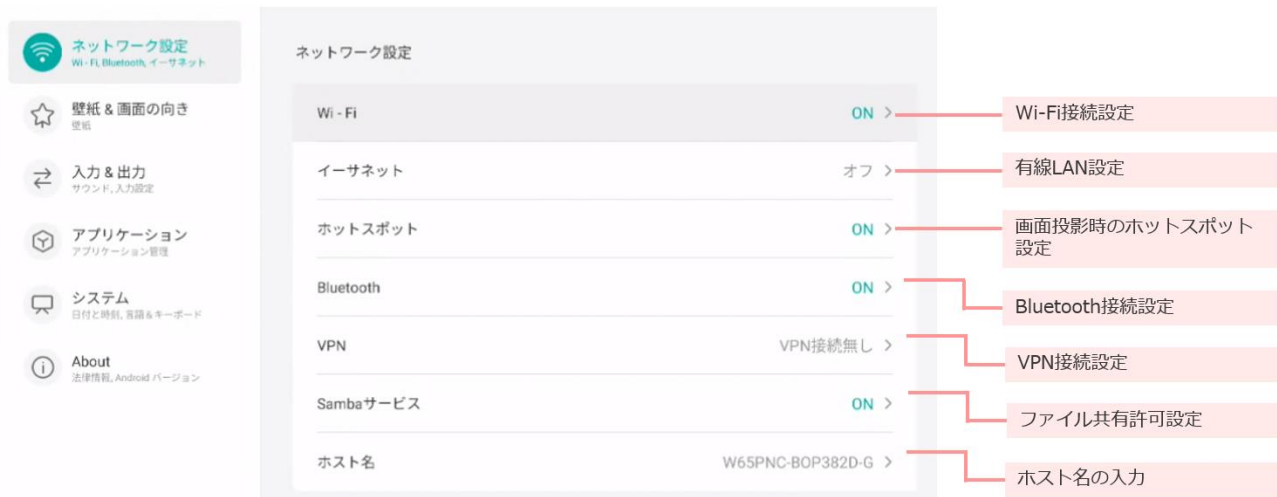
NFC センサーが反応しない主な理由

- ・ 端末に NFC 機能が無い
- ・ 端末の NFC 機能が OFF になっている
- ・ 端末で MAXHUB Share アプリに対して NFC 機能を許可していない
- ・ 合わせる位置が正しくない
- ・ 合わせる時間が短すぎる
- ・ センサーへの距離が遠すぎる（センサーの位置はワイヤレスドングルの中心です）

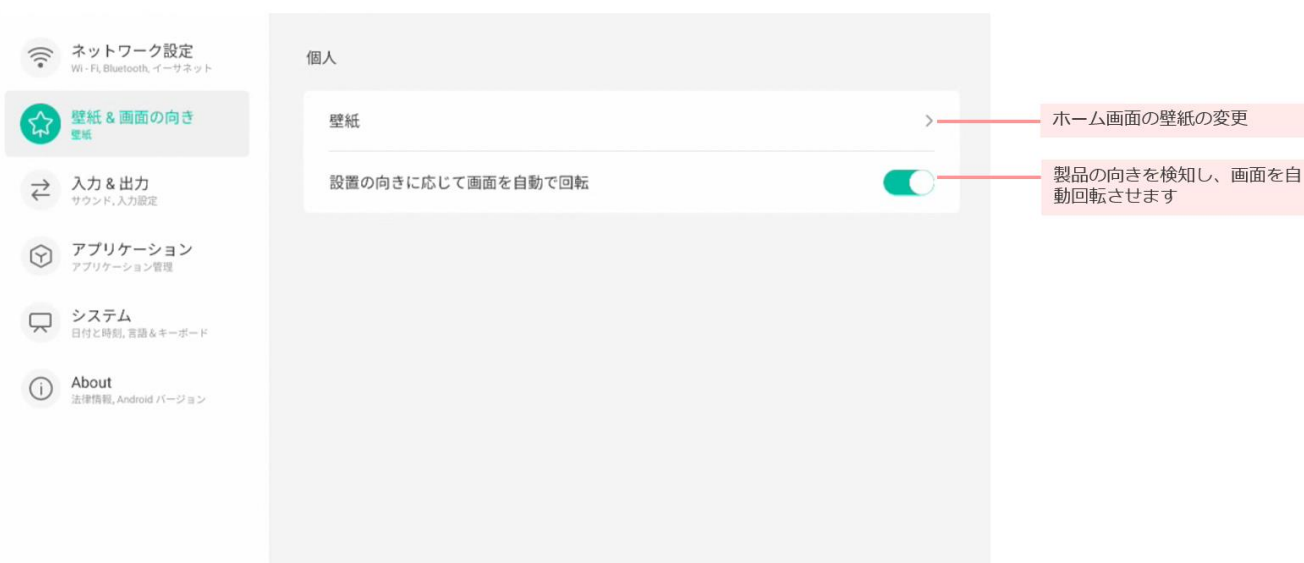
設定画面

設定（ネットワーク設定）

Wi-Fi、有線 LAN 接続、ホットスポットの設定ができます。



設定（個人）



設定（入力&出力）



※INlink(CEC)の機能ですが、接続する機器によっては本機との互換性が無く操作ができない場合があります。

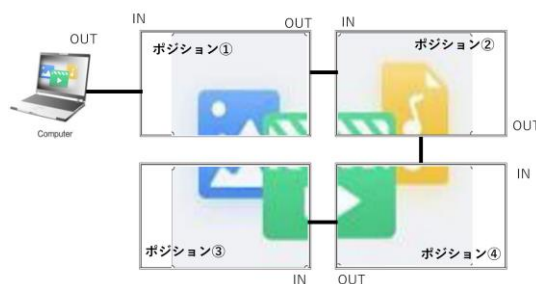
設定（入力&出力(マルチディスプレイ表示)）

マルチディスプレイ機能で1つのコンテンツを複数のデジタルサイネージで表示できます。



マルチディスプレイの設定

- 1) デジタルサイネージは同機種同サイズのを必ず使用してください。
- 2) マルチディスプレイ設定でV（高さ）H（横）の数値を指定し、該当のデジタルサイネージにポジションを設定してください。（図の例では縦が2台、横が2台で投影するのでH2/V2と入力します。）
- 3) PCのHDMI OUTからデジタルサイネージのHDMI INに接続してください。
※65・75・86・98型はHDMI 3以外のHDMI入力端子をご利用ください。[インターフェース](#)参照。
- 4) デジタルサイネージの電源をONにしてください。
- 5) Windows PCのデスクトップ画面で右クリック→ディスプレイ設定→画面を複製するに変更します。



設定（システム）



設定（起動とシャットダウン）



設定（システム＞詳細設定）

詳細設定

- 不明なアプリをインストール アプリのインストールを許可
- USBメモリを有効にする USBドライブの有効化
- LEDランプを点灯する 電源LEDのON/OFF
- リモコンの操作ロック オフ 付属リモコンの操作無効化
- 本機ボタン操作のロック オフ 本体操作ボタンの無効化
- 入力信号を検知した時起動する 映像機器からのHDMI入力信号を受けると電源が立ち上がります。
- 入力信号が無い時の自動スリープ ※ 5分 一定時間HDMI入力信号がない場合、シャットダウンする
- 入力信号が無い時の自動シャットダウン ※ オフ 一定時間HDMI入力信号がない場合、スリープする
- デバイスロック デバイスの操作やUSBをロック
- 工場出荷状態に復元 > 工場出荷状態にリセット

※本機の機能名が誤って登録されております。正しくは右側の記載通りの動作になります。

設定（システム＞セキュリティ）

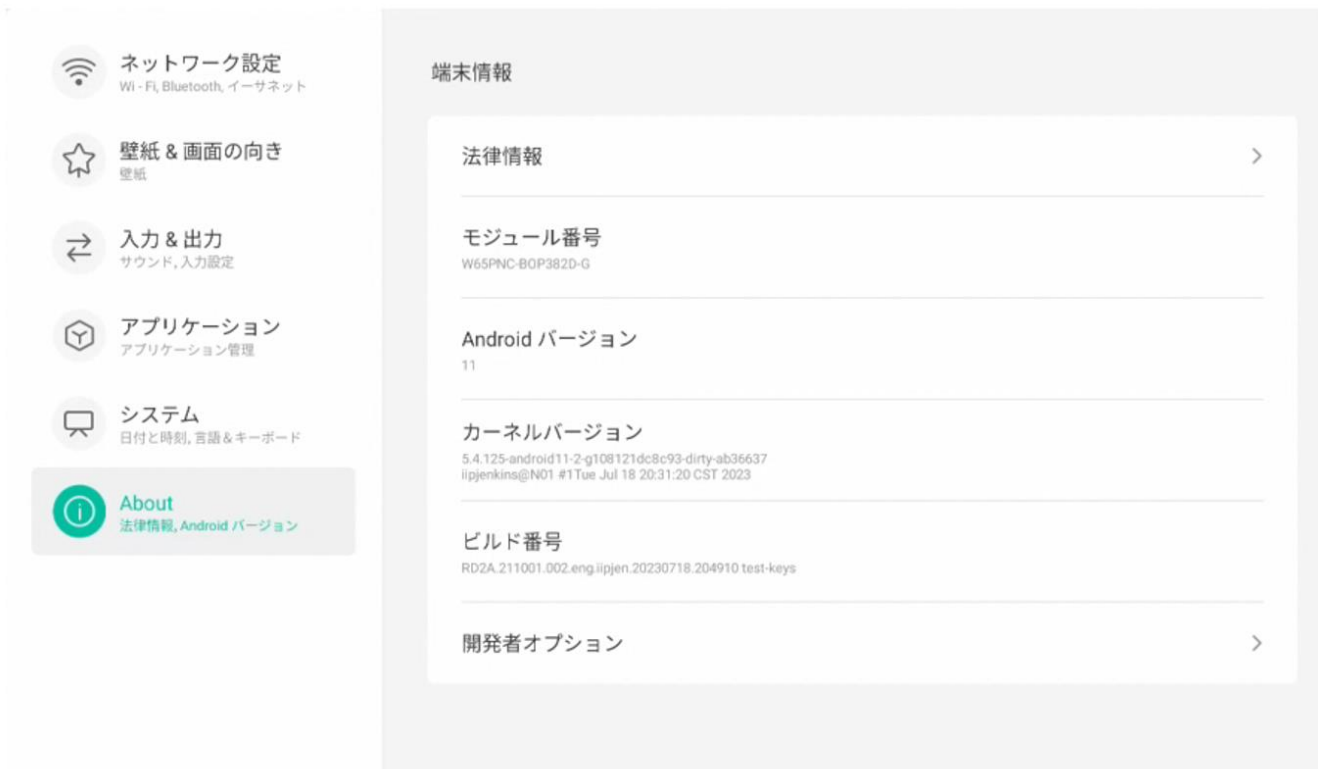
セキュリティ

資格保管

- 信頼できる資格 > 登録されている証明書の確認と変更
- ユーザー資格情報 > 登録されている証明書の確認と変更
- ストレージからインストール > 証明書をストレージからインストール
- クリア資格 > 証明書を削除

設定 (about)

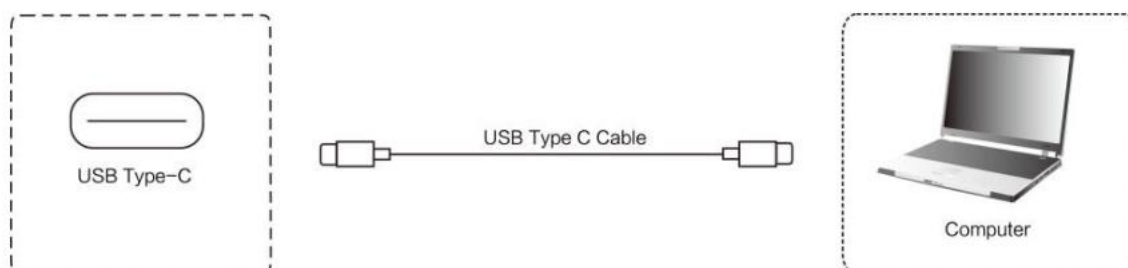
デバイス情報の確認ができます。



周辺機器接続方法

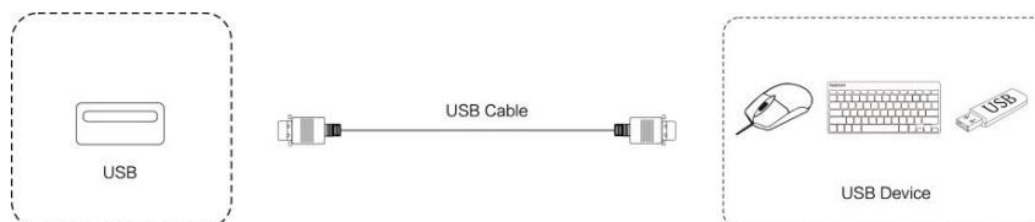
安全のため、接続する前にすべての電源ケーブルを抜いてください。

① PC での外部出力

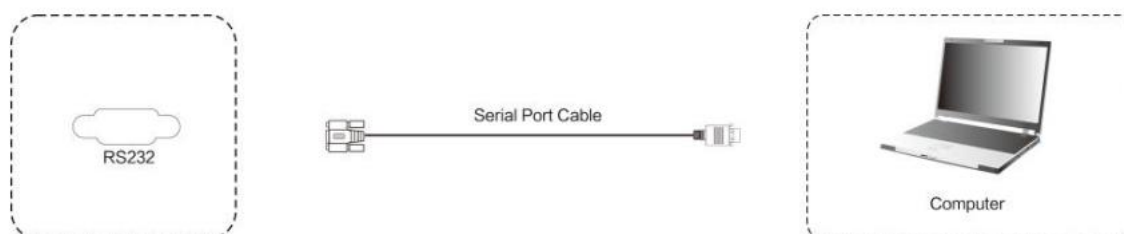


- 1) USB Type-C ケーブルで PC と接続する。
- 2) 電源ケーブルを挿し、AC スイッチを切り替え、主電源を入れます。
- 3) PC を起動します。
- 4) 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
- 5) 入力切り替え画面で「Type-C」を選択します。※[ホーム画面](#)の②入力切り替えを参照

② USB 接続

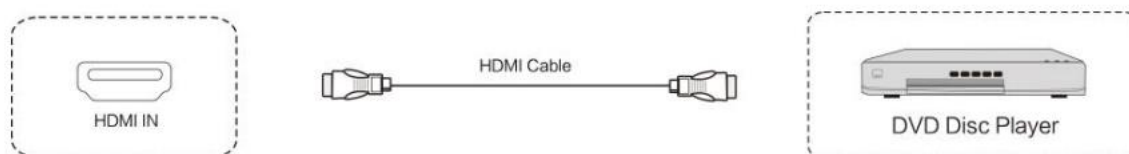


③ RS232 接続



シリアルポートケーブルを使用して中央制御装置と機器を接続すると、中央制御装置を介して機器の特定の機能を制御できます。例えば、機器の ON/OFF や音量の調整などができます。

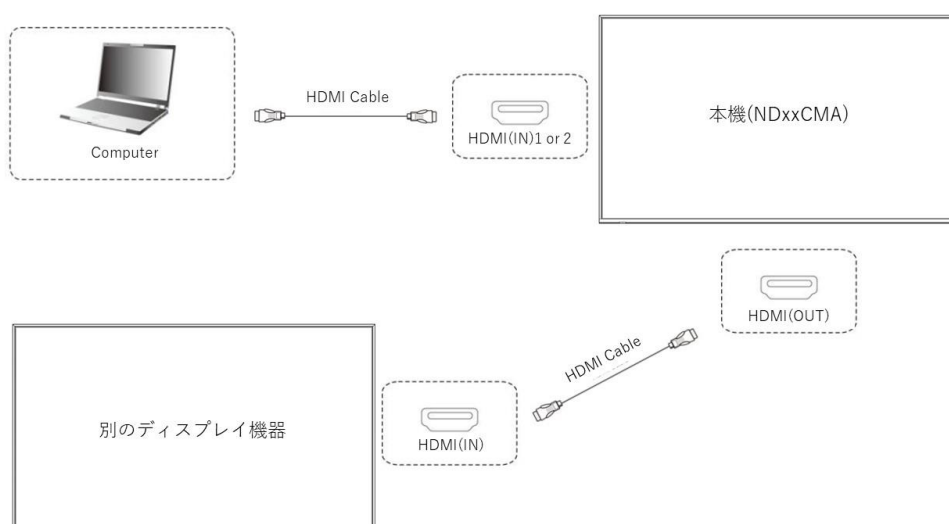
④ HDMI IN 接続



- 1) 本機と映像機器を HDMI ケーブルで接続します。
- 2) 電源ケーブルを挿し、AC スイッチを切り替え、主電源を入れます。
- 3) 映像機器を起動します。
- 4) 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
- 5) 入力切り替え画面で「HDMI1 or 2 or 3(接続先)」を選択します。※[ホーム画面](#)の②入力切り替えを参照

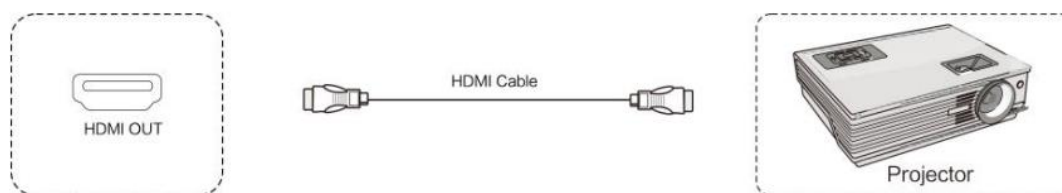
⑤ HDMI OUT 接続

PC の映像を、本機を経由して別のディスプレイ機器へ出力



- 1) 本機の HDMI(IN)と PC を HDMI ケーブルで接続します。
※65・75・86・98 型の HDMI(IN)は、HDMI3 以外の端子に接続してください。
HDMI3 は別のディスプレイ機器に映像出力することができません。[インターフェース](#)参照。
- 2) 本機の HDMI(OUT)と映像出力先のディスプレイ機器を HDMI ケーブルで接続します。
- 3) 電源ケーブルを挿し、AC スイッチを切り替え、主電源を入れます。
- 4) PC と別のディスプレイ機器を起動します。
- 5) 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
- 6) 入力切り替え画面で「HDMI 1 or 2 (接続先)」を選択します。※[ホーム画面](#)の②入力切り替えを参照

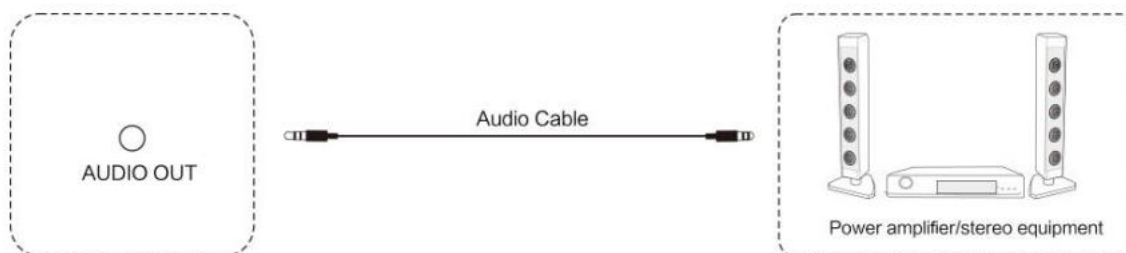
Windows PC モジュール（オプション品、65・75・86・98 型のみ）から外部機器への映像出力



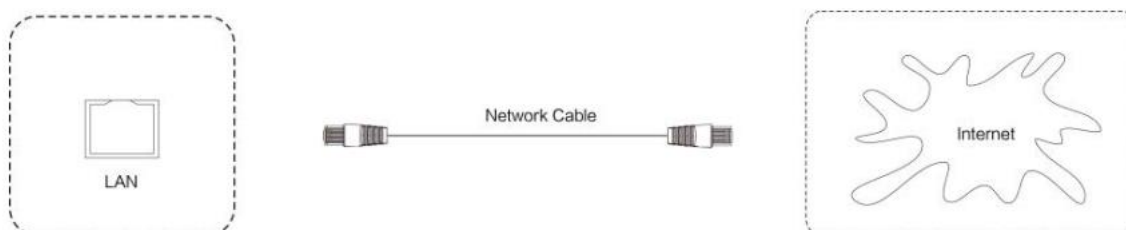
- 1) Windows PC モジュールの HDMI(OUT)と HDMI 入力端子を持つ外部機器を HDMI ケーブルで接続します。
- 2) 電源ケーブルを挿し、AC スイッチを切り替え、主電源を入れます。
- 3) 外部機器を起動します。
- 4) 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
- 5) 入力切り替え画面で「PC」を選択します。※[ホーム画面](#)の②入力切り替えを参照

※Windows PC モジュール（オプション品、65・75・86・98 型のみ）の映像を出力することはできませんが、Android チャンネル（本機標準画面）の映像を出力することはできません。[インターフェース](#)参照。

⑥ 音声出力機器との接続



⑦ LAN 接続



FAQ とトラブルシューティング

1. 本機の電源が勝手に落ちた

下記 3 点をご確認ください。

- ・ 電源表示灯の LED の色を確認し、本機電源の状態を確認ください。※本紙 8 ページ参照
- ・ 本機に電源ケーブルが接続しているか確認してください。
- ・ 本機の「アドオン」機能や「オートパワーオフ」機能の設定が有効になっていないか確認してください。
設定が有効になっていると、設定通りに本機がシャットダウンします。※[設定 \(起動とシャットダウン\)](#) 参照

2. 音声が聞こえない

下記 3 点をご確認ください。

- ・ 本機の音声を調整してください。または接続している機器の音声を確認してください。
- ・ 接続している機器とオーディオケーブルがきちんと接続しているか確認してください。
- ・ 本機に Bluetooth で接続している機器が無い確認してください。
本機に Bluetooth のイヤホン等の機器が接続していると、音の出力先は全て Bluetooth 接続先の機器になります。

3. 電源表示灯が点灯しない

AC スイッチ(主電源) がオンになっているか確認してください。 ※[インターフェース](#)・[本機電源操作](#)参照

4. 電源表示灯が赤色のまま、起動しない

電源ボタンを押しても電源が入らない場合、全てのケーブルを抜いて 15 分後再度電源を入れてみてください。

5. 画面の色がおかしい

HDMI ケーブルがきちんと接続しているか、ケーブル自体に問題がないか確認してください。

6. スリープ状態にしても本機から音声が流れる

本機の仕様上、スリープ状態時はディスプレイの表示が OFF になりますが

本機自体はバックグラウンドで処理を実行し続けております。

その為、音声が流れるのは仕様になります。

その他ご不明な点やユーザーサポートが必要な場合は、

保証書に記載のある電話番号までお問い合わせください。

重量とサイズ

モデル	サイズ	本体重量 (kg)	梱包重量 (kg)	本体サイズ L×H×D (mm)	梱包サイズ L×H×W (mm)
ND43CMA	43 型	9.90	13.85	964.6×552.5×71.4	1056×672×156
ND55CMA	55 型	13.40	19.50	1233×703.5×71.4	1332×819×156
ND65CMA	65 型	25.40	33.25	1463.3×838.3×76.4	1628×942×208
ND75CMA	75 型	34.65	48.15	1685.6×963.7×81.6	1863×1090×225
ND86CMA	86 型	43.15	60.75	1930.8×1101.8×81.6	2110×1227×225
ND98CMA	98 型	69.90	90.80	2212.9×1268.4×79.4	2360×1425×280